

# ML-105 EF ML-105 M58

---

多目的カメラ


# 目次

|                              |           |                      |           |
|------------------------------|-----------|----------------------|-----------|
| <b>1 はじめに.....</b>           | <b>3</b>  | 対応レンズと機能.....        | 47        |
| 安全上のご注意.....                 | 3         | アクセサリ紹介.....         | 47        |
| 取り扱い上のご注意.....               | 4         | 寸法図(ML-105 EF).....  | 48        |
| はじめにお読みください.....             | 4         | 寸法図(ML-105 M58)..... | 49        |
| 商品構成.....                    | 5         | <b>7 その他.....</b>    | <b>50</b> |
| 本書の読みかた.....                 | 5         | エラーメッセージ.....        | 50        |
| 概要.....                      | 6         | トラブルシューティング.....     | 50        |
| 各部の名称.....                   | 7         | 索引.....              | 51        |
| <b>2 準備.....</b>             | <b>10</b> |                      |           |
| システム構成例.....                 | 10        |                      |           |
| 電源を準備する.....                 | 11        |                      |           |
| リモートコントローラーRC-V100を接続する..... | 12        |                      |           |
| 外部モニター／レコーダーを接続する.....       | 13        |                      |           |
| カメラを準備する.....                | 16        |                      |           |
| <b>3 撮影.....</b>             | <b>19</b> |                      |           |
| 撮影する.....                    | 19        |                      |           |
| 撮影画面表示.....                  | 20        |                      |           |
| 映像の信号形式を選ぶ.....              | 21        |                      |           |
| カメラモードを選ぶ.....               | 22        |                      |           |
| カメラダイレクト設定を使う.....           | 23        |                      |           |
| アイリスを調整する(ML-105 EFのみ).....  | 24        |                      |           |
| 露出を調整する.....                 | 26        |                      |           |
| ゲインを調整する.....                | 27        |                      |           |
| シャッタースピードを調整する.....          | 28        |                      |           |
| ホワイトバランスを調整する.....           | 29        |                      |           |
| フォーカスを調整する.....              | 31        |                      |           |
| アスペクトマーカを表示する.....           | 34        |                      |           |
| <b>4 カスタマイズ.....</b>         | <b>35</b> |                      |           |
| アサインボタンを使う.....              | 35        |                      |           |
| カスタムピクチャーを使用する.....          | 36        |                      |           |
| 表示をカスタマイズする.....             | 40        |                      |           |
| <b>5 メニュー一覧.....</b>         | <b>41</b> |                      |           |
| <b>6 主な仕様.....</b>           | <b>46</b> |                      |           |


# 1 はじめに

## 安全上のご注意

製品を安全に使用していただくための注意事項です。必ずお読みください。お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

 **警告** 死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- 破損したときは、内部に触れない。
- カメラの内部に液体や異物を入れない。
- 分解や改造をしない。
- 強い衝撃や振動を与えない。
- 雷が鳴り出したら、接続機器の電源コードや接続ケーブルに触れない。  
感電の原因となります。
- 正しい電源電圧で使用する。  
指定の電源電圧以外で使用すると、火災や感電の原因となります。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れをしない。
- 可燃性ガスを含んだ空気中では使用しない。  
感電、破裂、火災の原因となります。
- レンズ、またはレンズを付けたカメラを太陽に向けたり、撮影をしたりしない。  
太陽が画面外にあるときや逆光撮影の場合でも、レンズに入った太陽の光が集光し、故障や火災の原因となることがあります。
- 使用中および使用後すぐに、製品に布などをかけない。
- 長時間、身体と同じ部位に触れさせたまま使わない。  
熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。
- 乳幼児の手の届くところに置かない。
- 使用が禁止されている場所では、電源を切るなどの指示に従う。  
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれがあります。
- 設置時、カメラと接続機器を含む総重量に耐える十分な強度があることを確認のうえ、必要に応じて適切な補強を行う。
- 不安定な場所に置かない。  
落下、転倒によるけがの原因となることがあります。

 **注意** 下記の注意を守らないと、けがを負う可能性または物的損害の発生が想定されます。

- 製品を高温や低温となる場所に放置しない。  
製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。

## 取り扱い上のご注意

- ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で保管しないでください。これらが内部に入ると故障の原因となります。レンズにホコリや砂が付くのを防ぐため、使用後は、ホコリなどの少ない場所でレンズを外して必ずボディキャップを取り付けてください。
- 接続ケーブルの抜き差しについては、必ずカメラに接続する機器の使用説明書をご覧ください。
- 磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像が乱れたり、ノイズが入ったりすることがあります。
- カメラを強い光源(晴天時の太陽や人工的な強い光源など)に向けしないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。特に本機を持ち運ぶときは、本体の角度を変えて直射日光などが入らないようにしてください。本機を使用しないときは、レンズを外して、ボディキャップを取り付けてください。
- カメラのレンズ接点を手で触れないでください。接触不良や腐食の原因になることがあります。接点が腐食するとカメラが正しく動作しなくなることがあります。
- レンズを取り外したときは、接点やレンズ面を傷つけないように、取り付け面を上にして置き、ダストキャップを取り付けてください。接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となり、カメラやレンズが正確に動作しないことがあります。
- 本機を冷えた状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、室温を急に上げたりすると、製品の表面や内部に露が発生することがあります(結露)。そのままの状態で使用すると、故障の原因になることがありますのでご注意ください。
- お手入れをする前に、必ずカメラから接続ケーブルを抜いてください。
- 製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

### 輝点・減点について

CMOS イメージセンサーは、非常に精密度の高い技術で作られています。画素に欠損が発生した場合、モニター画面上に、白または黒い点(輝点・減点)があらわれることがあります。これらは、CMOS イメージセンサーの特性であり、故障ではありません。

### 廃棄するときは

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

## はじめにお読みください

- **必ず映像を確認してください**  
ご使用前に、接続機器に、正常に映像が出力されていることを確認してください。万一、本機が正常に動作していないときは、お問い合わせ窓口へご連絡ください。
- **記録内容の補償はできません**  
本機や接続機器などの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。
- **映像の利用によるプライバシー・肖像権の注意**  
カメラの使用につきましては、お客様の責任でプライバシーの保護や肖像権の侵害防止などに十分にご配慮のうえ、行ってください。例えば、特定の建築物や屋内などが映し出される場合には、事前にカメラ設置の了承を得るなど対応してください。弊社では一切の責任を負いません。
- **法律上の注意事項**  
カメラによる監視は法律によって禁止されている場合があります、その内容は国・地域によって異なります。本機をご利用になる前に、ご利用いただく国・地域の法律を確認してください。
- **著作権について**  
お客様が撮影した映像や画像は、著作権法上、権利者に無断で使用・公開することはできませんのでご注意ください。
- カメラの動作中は、接続ケーブルを抜かないでください。データを破損するおそれがあります。
- 接続ケーブルの取り付け状態により発生したカメラの破損については、保証できません。
- 医療機器などの人命に関わるシステムには使用しないでください。  
コンピューターやネットワークの環境によっては、映像の遅延や欠落が発生するため、高精度の映像伝送は保証できません。  
上記の場合にカメラを使用した結果生じた事故や損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。

## 商品構成

ご使用になる前に、次のものがすべて梱包されていることをご確認ください。


- カメラ本体
- ボディキャップ(本体装着)

## 本書の読みかた

本書では、次の表記を使用しています。

**ご注意** : 必ず守っていただきたいこと

**MEMO** : 知っておいていただきたいこと

 : 参照ページ

MENU > [Camera Setup] > [Light Metering] を選ぶ :

メニューを表示し、メニューの階層を移動して設定項目／設定内容を選び、決定すること

- 本書では、開発中の画面を使用して説明しています。そのため、実際の製品とは異なることがあります。
- 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。
- 本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

## 概要

本製品は、高感度のカラー撮影が可能な多目的カメラです。

### ML-105 EF

キヤノン製EFレンズやEFシネマレンズを使用できます。動作確認済みのレンズについては、キヤノンのホームページをご覧ください。

### ML-105 M58

M58マウントレンズや変換アダプターを介して、FマウントレンズやCマウントレンズなどを使用できます。

- ML-100 M58に取り付けるレンズについて  
レンズマウント面からの突き出し量は、7.2 mm以内のものをご使用ください。

## 特長

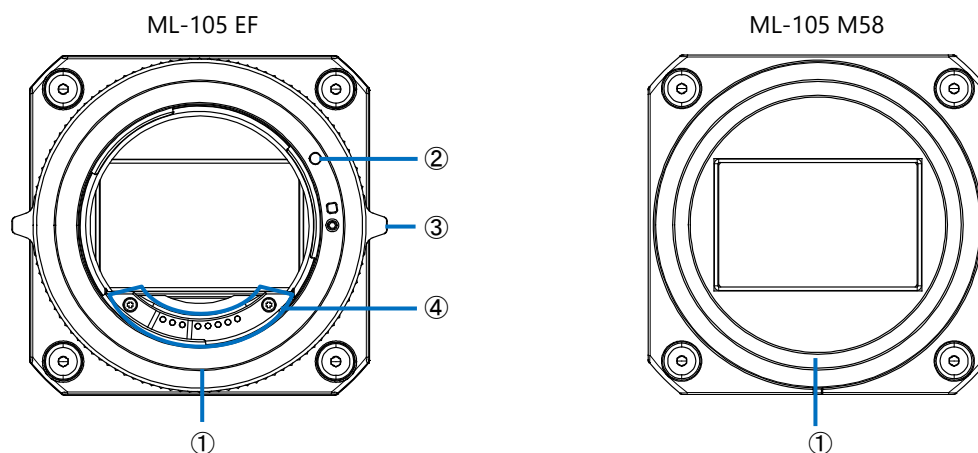
- 1 辺  $19\mu\text{m}^{*1}$  の大きな画素を持ったフル HD 対応 35mm フルサイズ相当 CMOS センサーにより、超高感度撮影が可能です。
- 最低被写体照度 0.0005 ルクス以下<sup>\*2</sup>(ISO 感度換算:400 万相当)を実現。赤外線投光なしで、ノイズの少ないカラー動画撮影が可能です。
- フル HD 対応 35mm フルサイズ相当 CMOS センサーと映像エンジン「DIGIC DV 4」の組み合わせにより、低照度でもノイズの少ない高画質撮影が可能です。
- マニュアルによる露出制御のほか、アイリス、ゲイン、シャッタースピード(ML-105 M58: ゲイン、シャッタースピード)が連動した自動露出(AE)制御が可能です。
- 映像制作機器 CINEMA EOS SYSTEM にも採用されている Canon Log や Wide DR での撮影も可能です。
- リモートコントローラーRC-V100(別売)を使って、本機をリモートで操作できます。
- RC-V100 のアサインボタンに機能を割り当てることで、ボタンを押すとフォーカスを自動的に調整するワンショット AF や、アイリスを一時的に自動で調整するプッシュオートアイリスを使用できます(ML-105 EF のみ)。

<sup>\*1</sup>  $1\mu\text{m}$ (マイクロメートル)は 100 万分の 1 メートルです。

<sup>\*2</sup> カラー、蓄積なし、F1.2、シャッタースピード 1/30 秒時、50IRE、最大ゲイン 75 dB 時

## 各部の名称

## 正面



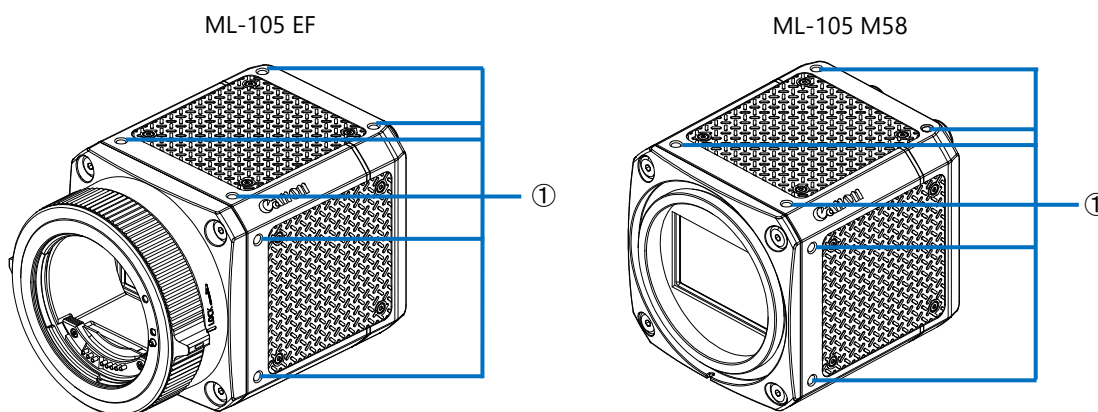
## ML-105 EF

- ① EF マウント  
EF レンズまたは EF シネマレンズを取り付けます。
- ② EF レンズ取り付け指標 (赤色)
- ③ ロックリング
- ④ EF レンズ接点  
本機から EF レンズまたは COMPACT-SERVO レンズに電源供給、およびレンズ制御を行います。

## ML-105 M58

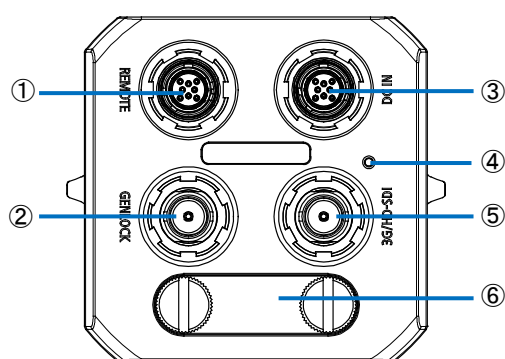
- ① M58 マウント  
M58 マウントレンズや、マウント変換アダプターを取り付けます。

## 側面(上下／左右共通)



- ① ネジ穴  
カメラを設置時に、本体を固定するためのネジ穴です。  
上／底面：4-M4 深さ 5 mm      左／右面：2-M4 深さ 5 mm

## 背面

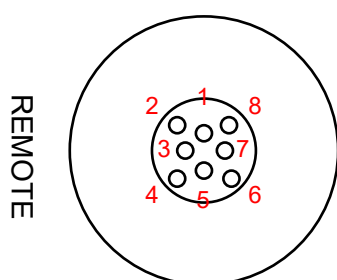


## ① REMOTE 端子

RS-422/485/232 のシリアル通信で本機を制御するために使用します。リモートコントローラーRC-V100 または NU プロトコルを搭載したシステムを接続することができます。

また、RS-422/485 経由で、本機のファームウェアをアップデートするときに使用します (RS-232 経由では、アップデートはできません)。アップデートを行う場合は、アップデート用接続ケーブルをご用意ください。NU プロトコル、ファームウェアのアップデートについては、お問い合わせ窓口にお問い合わせください。

- コネクター(カメラ側)      メーカー: ODU GmbH & Co. KG、型番: 756.271.081.108.111
- 適合プラグ(ケーブル側)      メーカー: ODU GmbH & Co. KG、型番: 756.271.081.208.120



## RC-V100 を接続時

| ピン番号           | 信号名        | 入出力    |
|----------------|------------|--------|
| 1              | Cont       | Output |
| 2              | GND        | -      |
| 3              | RS422 TX - | Output |
| 4              | RS422 TX + | Output |
| 5              | GND        | -      |
| 6              | RS422 RX - | Input  |
| 7              | RS422 RX + | Input  |
| 8 <sup>※</sup> | Power      | Output |

※ 8 番は、RC-V100 専用の電源です。

## NU プロトコル(RS-422/485/232)で接続時

| ピン番号 | NUプロトコル(RS-422) |        | NUプロトコル(RS-485)           |                | NUプロトコル(RS-232) |        |
|------|-----------------|--------|---------------------------|----------------|-----------------|--------|
|      | 信号名             | 入出力    | 信号名                       | 入出力            | 信号名             | 入出力    |
| 1    | NC              | -      | NC                        | -              | NC              | -      |
| 2    | GND             | -      | NC                        | -              | GND             | -      |
| 3    | RS422 TX -      | Output | RS485 Data - <sup>※</sup> | Input / Output | NC              | -      |
| 4    | RS422 TX +      | Output | RS485 Data + <sup>※</sup> | Input / Output | RS232 TX        | Output |
| 5    | GND             | -      | GND                       | -              | GND             | -      |
| 6    | RS422 RX -      | Input  | NC                        | -              | GND             | -      |
| 7    | RS422 RX +      | Input  | NC                        | -              | RS232 RX        | Input  |
| 8    | NC              | -      | NC                        | -              | NC              | -      |

※ 終端抵抗の有無



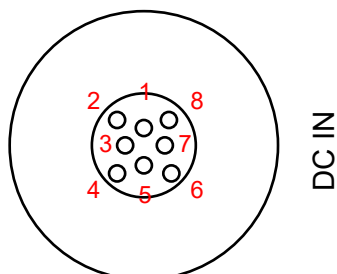
## ② GENLOCK 端子

外部機器（同期信号発生器など）を接続します。

## ③ DC IN 端子

外部電源入力用端子です。

- コネクタ（カメラ側）      メーカー：ODU GmbH & Co. KG、型番：756.271.081.108.211
- 適合プラグ（ケーブル側）      メーカー：ODU GmbH & Co. KG、型番：756.271.081.208.220



| ピン番号 | 信号名                    | 入出力   |
|------|------------------------|-------|
| 1    | NC                     | -     |
| 2    | GND                    | -     |
| 3    | NC                     | -     |
| 4    | DC IN (DC 10 V ~ 29 V) | Input |
| 5~8  | -                      | -     |

## ④ 電源ランプ

本体に電源が入ると緑色に点灯し、電源を切ると消灯します。電源ランプは点灯しないようにすることができます（☐44）。ファームアップの動作中は点滅します。

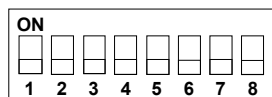
## ⑤ 3G/HD-SDI 端子

外部モニター／レコーダーを接続します。

## ⑥ DIP スイッチ保護カバー

## DIP スイッチ

各スイッチは、次の操作をするときに切り替えます。使用しないスイッチは、OFF のままです。



## 1 番：システム周波数を切り替えるとき

[OFF]：システム周波数を「59.94Hz」に切り替える。

[ON]：システム周波数を「50.00Hz」に切り替える。

## 2、3 番：シリアル通信の通信方式を切り替えるとき（2 つのスイッチを組み合わせで設定します。）

| 2   | 3   | 内容  |
|-----|-----|---|
| OFF | OFF | 「RS-422全二重通信」に切り替える（RC-V100を使用時は、この設定にします）。 |
| OFF | ON  | 「RS-232通信」に切り替える。                           |
| ON  | OFF | 「RS-485半二重通信、終端の抵抗無し」に切り替える。                |
| ON  | ON  | 「RS-485半二重通信、終端の抵抗有り」に切り替える。                |

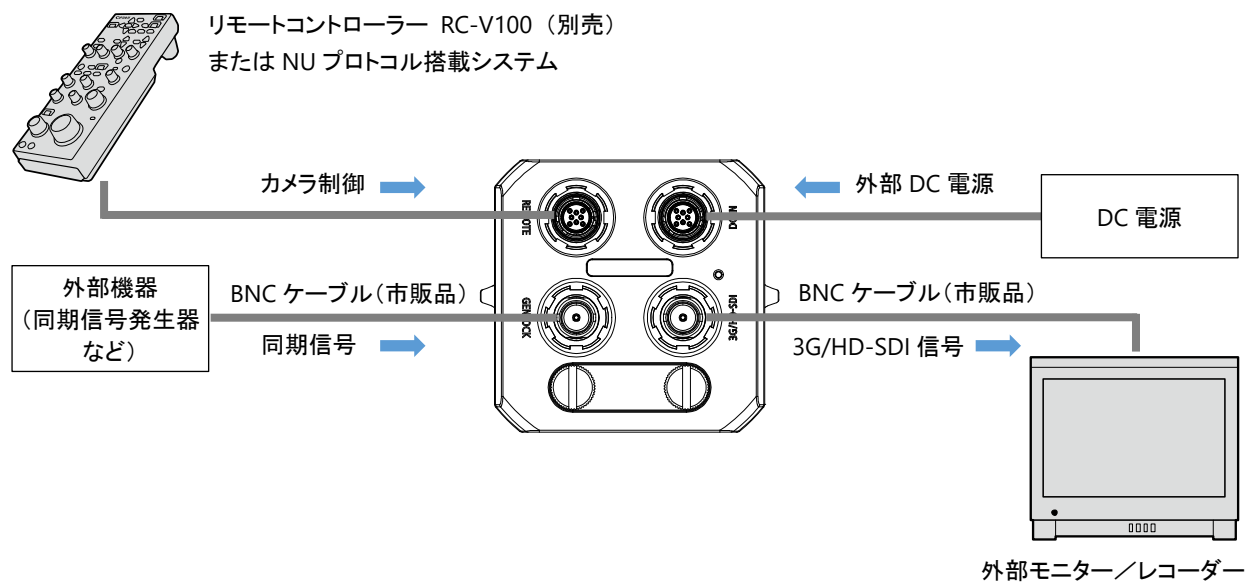
## 4、5 番：シリアル通信のプロトコルを切り替えるとき（2 つのスイッチを組み合わせで設定します。）

| 4   | 5   | 内容                |
|-----|-----|-------------------|
| OFF | OFF | RC-V100の接続に切り替える。 |
| OFF | ON  | 予備                |
| ON  | OFF | NUプロトコルの接続に切り替える。 |
| ON  | ON  | 予備                |

6～8 番：予備スイッチ。OFF のままにします。

## 2 準備

### システム構成例



## 電源を準備する

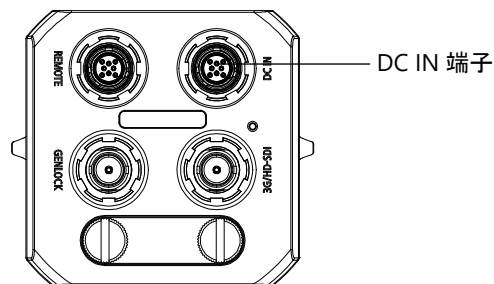
電源は、DC IN端子を使い、接続した外部電源アダプターから供給されます。カメラには電源スイッチがありません。カメラの電源の入／切は、カメラに接続した外部電源で行います。接続機器の説明書もあわせてご覧ください。

### ご注意

- 商用電源と絶縁された電源をご使用ください。
- 外部電源には、二重絶縁構造の機器をご使用ください。
- 外部電源アダプターと電源ケーブルは、お使いの国や地域の安全規格に適合した製品をご使用ください。
- カメラが起動しない場合は、電源を切り、3秒以上経ってから、再度、電源を入れてください。

### 準備（※市販品）

- 外部電源アダプター※  
[仕様] 出力電圧: DC 10 V ~ 29 V 出力電流: 3A 以上
- 電源ケーブル※  
[仕様] 定格電圧: 入力電圧の2倍以上 許容電流: 3A 以上  
ODU社製コネクタ（オス）※を使用します。  
本機のDC IN端子のピン配列をご参考ください( 9 )。

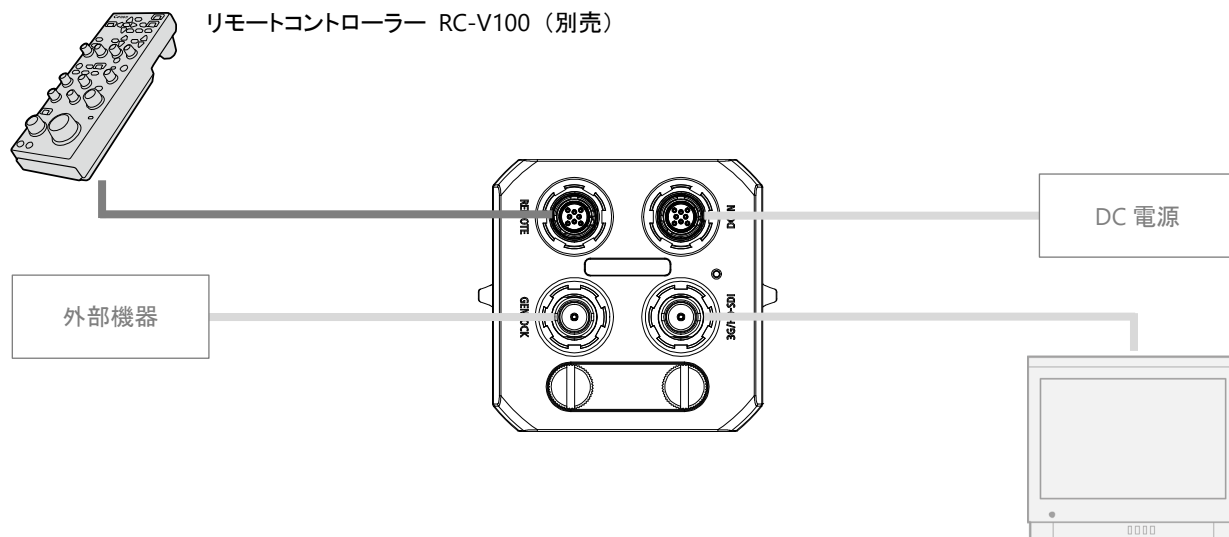


1. 本機のDC IN端子に、ODU社製コネクタ付き電源ケーブルを接続する
2. 電源ケーブルを外部電源アダプターに接続する
  - 本体に電源が入ると、電源ランプが点灯する。

## リモートコントローラーRC-V100 を接続する

リモートコントローラーRC-V100 を接続することで、本機をリモートで操作できます。RC-V100 の詳細については、RC-V100 の説明書をご覧ください。

本機に RC-V100 を接続するときに使用する 8 ピン リモートケーブル RR-10 / RR-100(別売)は、カメラ側のコネクタを市販の ODU 社製コネクタ(オス)に変更する必要があります。本機の REMOTE 端子のピン配列をご参考ください(図8)。



### ご注意

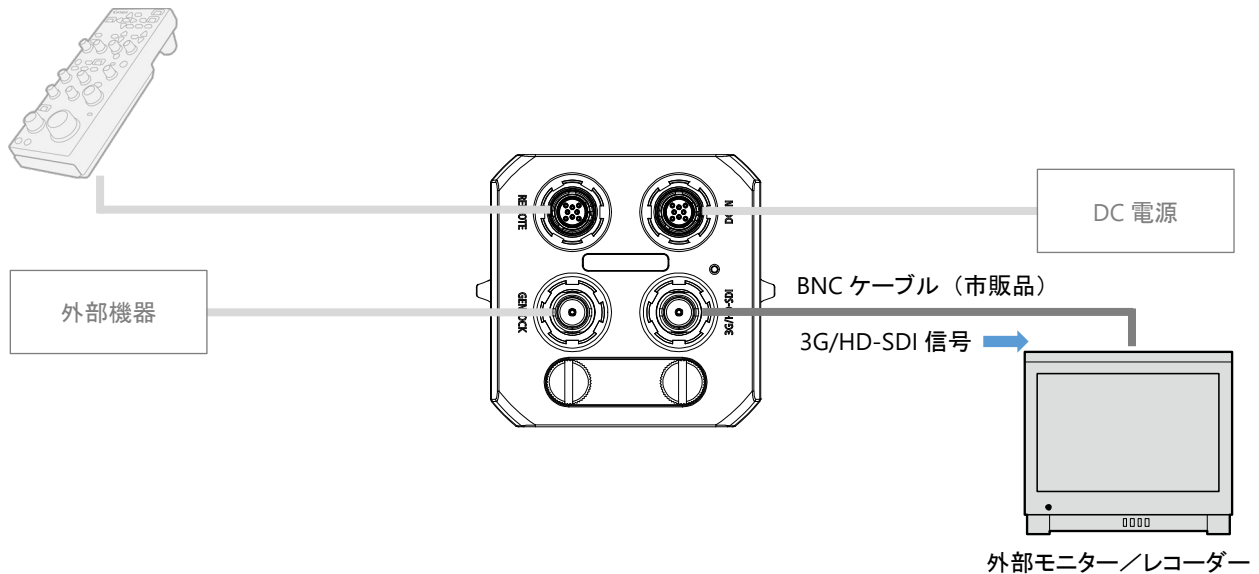
- 事前に、RC-V100 のシリアル番号を確認してください。シリアル番号が 01 xxxx のときは、RC-V100 のファームウェアの更新が必要です。ファームウェアの更新をご希望される場合は、お問い合わせ窓口にご相談ください。
  - RC-V100 の取り付け／取り外しは、本機に供給している電源を切った状態で行います。
1. 背面の DIP スイッチ保護カバーをはずし、DIP スイッチの 2 番、3 番、4 番、5 番を OFF にする
  2. 本機の REMOTE 端子と RC-V100 を、RR-10 / RR-100 で接続する
    - ・ ケーブルは、RC-V100 の REMOTE B 端子に接続する。
  3. RC-V100 の背面にある端子切り換えスイッチを、REMOTE B 端子側に切り換える
    - ・ RC-V100 は、電源が ON になると、CAMERA POWER ボタンが緑色に点灯する。

### MEMO

- 本機と RC-V100 の接続が完了するまで、CAMERA POWER ボタンは速い点滅になります。接続が完了できない場合は、速い点滅のままです。
- 本機で動作しない RC-V100 のボタン／ダイヤル  
CAMERA POWER ボタン、ONSCREEN ボタン、SHUTTER SELECT ボタン、AUTO KNEE ボタン、AUTO IRIS ボタン、  
Ⓢ (レックレビュー)ボタン、AGC ボタン、AF ボタン、ND 切り換えボタン、ND フィルターランプ  
  - － ZOOM ダイヤルは、EF シネマレンズを装着している場合のみ使用できます。
  - － RC-V100 でズームを調整するときは、レンズのズームサーボ／マニュアル切替えノブを SERVO にしてください。

## 外部モニター／レコーダーを接続する

本機の 3G/HD-SDI 端子を使って、外部モニター／レコーダーと接続できます。対応外部レコーダーについては、お問い合わせ窓口にお問い合わせください。



### MEMO

- 画面が映らないとき  
「システム周波数」、「フレームレート」、「3G-SDI Mapping」が正しく設定されていません。「システム周波数」と「フレームレート」の設定を変更し( 50)、設定内容をご確認ください。

## SDI 端子の出力信号のマッピング方式を設定する

SDI端子から出力される映像信号には、記録コマンドが重畳されます。画面表示を重畳することもできます。

1. メニューを表示する( 16)
2. [Video Setup] > [3G-SDI Mapping] > [Level A] または [Level B] を選ぶ
  - SMPTE ST 425-1 規格の Level A または Level B に準拠した信号が出力される。

### MEMO

- MENU > [Video Setup] > [Rec Command] > [Activate] が [On]、かつ外部機器に Rec を発行しているときは [3G-SDI Mapping] は灰色表示になります。

## 外部レコーダーに記録の開始と停止を要求する

本機と外部レコーダーを接続したとき、外部レコーダーに記録の開始と停止を要求できます。

1. 記録を開始する
  - RC-V100 の START/STOP ボタンを押すと、外部レコーダーが記録を開始する。
  - 撮影画面に [Rec] が表示される。
2. 記録を停止する
  - RC-V100 の START/STOP ボタンを押すと、外部レコーダーが記録を停止する。
  - 撮影画面から [Rec] が消える。

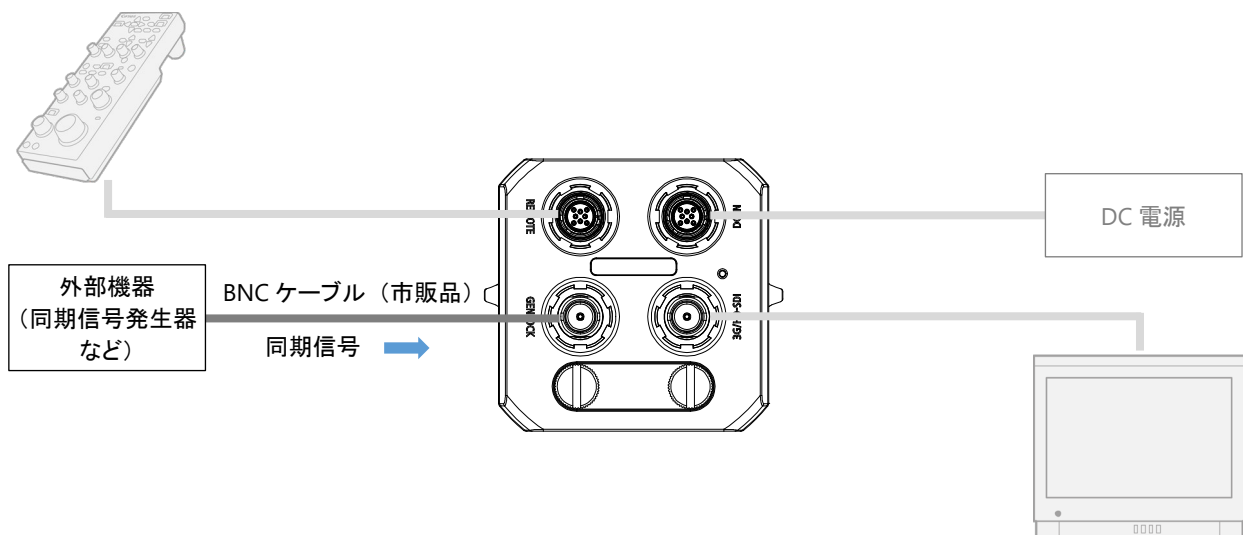
### MEMO

- 外部レコーダーによっては、記録開始時に、撮影画面に[Rec] が表示されないことがあります。
- 外部レコーダーに記録の開始と停止を要求できないときは、MENU > [Video Setup] > [Rec Command] > [Activate] が [On] になっていることを確認してください。
- MENU > [Video Setup] > [Rec Command] > [Remove OSD] を [On] にすると、外部レコーダーに記録の開始を要求したときに、連動して撮影画面の画面表示を非表示にできます。
- 外部レコーダーに記録の要求をしているときは、以下のメニュー設定を変更できません。  
ABB、3G-SDI Mapping、Rec Command、Reset、Assignable Buttons、Frame Rate、Resolution、Genlock Adjustment、Camera Name

## 外部機器と同期させる

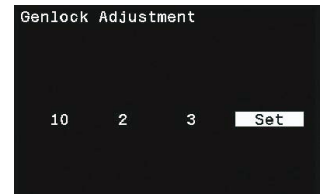
GENLOCK(ゲンロック)によって、外部機器と本機の映像信号を同期させることができます。同期信号(HD 三値信号、またはアナログ・ブラックバースト信号)を GENLOCK 端子に入力すると、同期信号を基準として、自動的に内部の V 同期/H 同期の位相を合わせます。なお、位相差 0 を中心として、約 $\pm 0.4H$  の範囲で H 位相を調整できます。

<設定値> -1023 ~ 1023



## H 位相を調整する

1. メニューを表示する(📖 16)
2. [Other Functions] > [Genlock Adjustment] を選ぶ
3. 変更する桁にカーソルを合わせて、数字を選ぶ
  - (例)1023 のとき: 10 2 3
4. [Set] を選ぶ



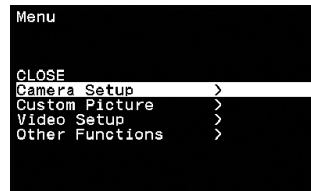
### MEMO

- 同期信号が入力されると約 10 秒以内に同期が安定します。
- 入力された GENLOCK 信号を検知すると、撮影画面に [Gen.] が点滅して表示されます。入力信号と本機が同期すると、[Gen.] が点灯に変わります。
- 不正な同期信号が入力されると、同期が安定しないことがあります。

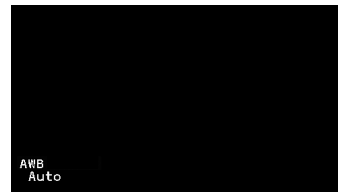
## カメラを準備する

### メニューで設定を変える

本機のみさまざまな機能をメニューによって設定できます。ここでは、リモートコントローラーRC-V100 での操作のしかたを説明します。本機に接続した外部モニターに、メニュー画面を表示して設定します。



メニュー



撮影画面

### RC-V100 の操作ボタン

- MENU ボタン: メニューを表示します。
- 上/下/左/右/SET ボタン: メニュー上のカーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選びます。選んだ内容を決定するときは、SET ボタンを押します。
- CANCEL ボタン: メニューの 1 つ上の階層に戻ります。実行前の操作はキャンセルされます。

#### 1. メニューを表示する

- MENU ボタンを押すと、メニュー操作モードになり、画面にメニューが表示される。
- MENU ボタンを押すごとに、メニューと撮影画面が切り替わる。
- メニューは、最後にメニューを消したときの状態が保持されたまま、表示される(カメラを再起動すると初期状態に戻る)。

#### 2. メニューを選ぶ

- 上/下ボタンを押して、設定するメニューを選ぶ。
- SET ボタンを押すと、サブメニューが表示される。
- メニューの設定項目が 1 画面以上あるときは、カーソルを上下に移動すると、メニューがスクロールする。

#### 3. メニュー項目を選ぶ

- 上/下ボタンを押して、設定するメニュー項目を選ぶ。
- SET ボタンを押すと、設定内容が表示される。
- メニュー項目の右側に表示される [ > ] は、下の階層があることを示す。
- 設定項目が 1 画面以上あるときは、カーソルを上下に移動すると、メニューがスクロールする。
- CANCEL ボタンを押すと、カーソルが 1 つ上の階層に戻る。

#### 4. 設定内容を選ぶ

- 上/下ボタンを押して、設定内容を選ぶ。
- SET ボタンを押すと、設定内容が決定し、上の階層に戻る。

#### 5. メニューを終了する

- [CLOSE] を選び、SET ボタンを押すと、メニュー操作モードが終了し、メニューが消える。



## MEMO

- メニュー画面に表示される [<] を選び、SET ボタンを押すと、上の階層に移動します。
- 他の機能の設定内容などによって設定できない項目は、灰色で表示されます。
- RC-V100 の MENU ボタンを押すと、メニューはいつでも終了します (Camera Name 入力時を除く)。
- 操作説明中のメニュー階層は次のように表記します。  
例: MENU > [Camera Setup] > [Light Metering] > いずれかを選ぶ  
「MENU」は、「RC-V100 の MENU ボタンを押してメニューを表示する」操作を示します。  
「～を選ぶ」は、「RC-V100 の上/下/左/右ボタンを押して対象を選び、SET ボタンを押して決定する」操作を示します。

## ブラックバランスを調整する

はじめてご使用になるときや、使用環境の温度が変わったときなど映像信号の黒がずれたときに、ブラックバランスを自動的に調整できます。

1. 本体にボディキャップを取り付けて、本機の電源を入れる
  - レンズを取り付けているときは、本機の電源を切ってレンズを取り外し、ボディキャップを取り付ける。
  - EF シネマレンズの場合、レンズを装着したまま、ブラックバランスを調整できる。操作 2 に進む。
2. MENU > [Camera Setup] > [ABB] を選ぶ
3. メッセージを確認し、[OK] を選ぶ
  - ブラックバランス調整が行われる。
4. 調整完了画面が表示されたら、[OK] を選ぶ
  - センサーの遮光が正しく行われていないときは、画面に [ABB error] が表示される。ボディキャップまたは EF シネマレンズの取り付けや、センサーの遮光を確認し、再度、操作 1 から操作する。

## MEMO

- ブラックバランス調整が必要なとき
  - ー 長時間使用しなかったあとに使用するとき
  - ー 周囲の温度が大幅に変化したとき
  - ー 本機の設定をリセットしたとき (MENU > [Other Functions] > [Reset] > [All Settings] または [Camera Settings])
- ブラックバランス調整中、画面の表示が乱れますが、故障ではありません。
- EF シネマレンズを使用してブラックバランスを調整したときは、アイリスを再度調整してください。

## レンズを準備する

レンズの取り付け/取り外しは、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。本機に取り付けるレンズの説明書もあわせてご覧ください。

**ご注意**

- レンズ取り付け/取り外しは、直射日光や強い照明を避けて行ってください。また、カメラやレンズを落とさないようご注意ください。
- レンズ取り付け/取り外しを行うときは、カメラの電源を切ってください。
- 本機には、UV-IR カットフィルターが搭載されておりません。可視光でのカラー撮影をするときは、UV-IR カットフィルター(市販品)をレンズに装着してください。  
動作確認済みの UV-IR カットフィルターについては、キヤノンのホームページをご覧ください。

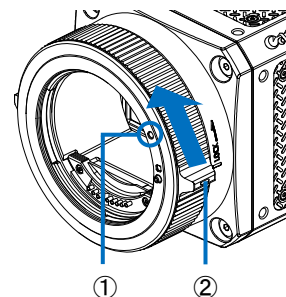
## MEMO

- レンズを取り外したとき
  - － レンズ／カメラ本体のレンズマウント、レンズマウントの内部に手を触れないでください。
  - － カメラ本体のレンズマウントにボディキャップを、レンズにダストキャップを取り付けてください。キャップはゴミやほこりを落としてから使用してください。

## レンズの取り付けかた(EF レンズ)

動作確認済みのレンズについては、キヤノンのホームページをご覧ください。

1. 本機の電源を切る
2. EF マウントからボディキャップを、レンズからダストキャップを取り外す
3. 本機とレンズの取り付け指標(赤色)を合わせ、レンズをマウントに差し込む(①)
4. レンズを押さえながら、ロックリング(②)を反時計回りに回して固定する
  - レンズを取り外すときは、本機の電源を切り、レンズを押さえながら、ロックリングを時計回りに回します。



## ご注意

- 手ブレ補正機能を搭載した EF レンズの取り外しは、手ブレ補正スイッチを OFF にしてから行ってください。

## MEMO

- EF シネマレンズを装着したとき
  - － 本機のセンサーサイズは、EFシネマレンズが対応するサイズ(スーパー35mm)より大きいので、EFシネマレンズを装着すると、ケラレが発生することがあります。
  - － MENU > [Camera Setup] > [EF-S Lens] を [On] にすると、ケラレを回避できます。ただし、電子的に約1.55倍に拡大するため、画質が劣化します。
- レンズの特性により、映像の四隅の明るさが中央部に比べて暗くなりますが、レンズごとの補正データを適用して、周辺部の光量低下を補正できます(☞43)。
- ズーム操作により F 値が変化する EF レンズ<sup>\*</sup>を装着したときは、ズーム操作に連動して F 値を補正するかどうかを選べます(☞42)。
  - ※ 一部の EF レンズや EF シネマレンズを除く。

## 3 撮影

動画の基本的な撮影のしかたについて、説明します。

本機の設定は、メニュー( 16)またはカメラダイレクト設定( 23)を使って行います。ここでは、リモートコントローラーRC-V100での設定のしかたを説明します。

### 撮影する

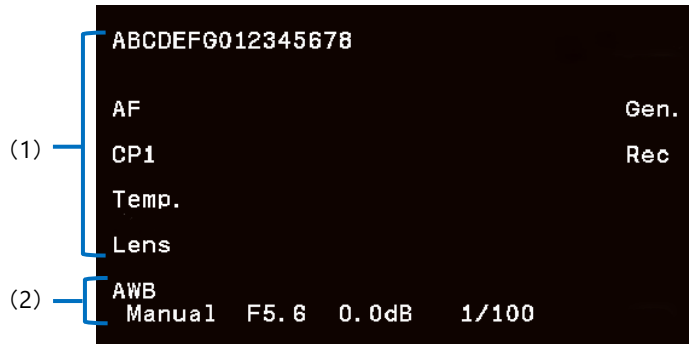
1. 本機の電源を入れる
2. システム周波数やアイリスなど、撮影に必要な設定や調整をする
3. 撮影する
  - 外部レコーダーに記録の開始を要求する( 14)。

#### MEMO


- MENU > [Camera Setup] > [Color Bars] > [Activate] を [On] で、カラーバーを出力できます。また、RC-V100のBARSボタンを押しても、カラーバーを出力できます。
- MENU > [Camera Setup] > [Color Bars] > [Type] で、カラーバーのタイプを変更できます。
- MENU > [Other Functions] > [Scan Reverse] で、映像を上下左右に反転して出力できます。

## 撮影画面表示


カメラモードによって、表示内容が異なります。各表示項目は、メニューの [Custom Display] で、表示の入/切を選択できます。



### (1) 画面の上部

| 表示例               | 説明              |  |
|-------------------|-----------------|---|
| ABCDEFG012345678  | カメラ名称           | 45  |
| AF                | ワンショット AF       | 31  |
| CP1～CP7、WDR、C.Log | カスタムピクチャーファイル   | 36  |
| Temp.             | 温度警告            | 50  |
| Lens              | レンズ通信エラー        |   |
| Gen.              | GENLOCK 検知・同期表示 | 14  |
| Rec               | 外部レコーダーに記録を要求中  | 14  |

### (2) 画面の下部 (カメラダイレクト設定)

| 表示例                               | 説明  |  |
|-----------------------------------|---|---|
| AWB、WB-A、WB-B、<br>Dylt ±0、Tung ±0 | ホワイトバランス  | 29  |
| Auto、Tv、Av、AGC、<br>Manual         | カメラモード  | 22  |
| F0.0、Clsd                         | F 値<br>カメラモードが [Tv] のときは、灰色表示。[Auto] のときは非表示            | 24  |
| 00.0dB                            | ゲイン<br>カメラモードが [Tv]、[Av]、[AGC] のときは、灰色表示。[Auto] のときは非表示 | 27  |
| 1/0000、0"、0"00                    | シャッタースピード   | 28  |

#### MEMO

- 撮影画面で RC-V100 の CANCEL ボタンを押すと、画面表示が消えます。もう一度 CANCEL ボタンを押すと、画面表示が表示されます。
- 3G/HD-SDI 端子からの出力信号には、メニューなど画面表示の情報が重畳されます。
- 外部レコーダーによっては、撮影画面に表示されない表示があります。

## 映像の信号形式を選ぶ

映像の信号形式を選びます。信号形式は、解像度とフレームレートの組み合わせからなります。

<設定値> 選択できるフレームレートは、システム周波数によって異なります。

| 解像度         | システム周波数／フレームレート |        |        |        |         |        |        |          |
|-------------|-----------------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|----------|
|             | 59.94Hz         |        |        |        | 50.00Hz |        |        |          |
|             | 59.94P          | 59.94i | 29.97P | 23.98P | 50.00P  | 50.00i | 25.00P | 25.00PsF |
| 1920 x 1080 | ●               | ●      | ●      | ●      | ●       | ●      | ●      | ●        |
| 1280 x 720  | ●               | —      | ●      | ●      | ●       | —      | ●      | —        |

1. 背面の DIP スイッチ保護カバーをはずし、DIP スイッチを設定する
  - 59.94Hz のとき：1 番を OFF にする。
  - 50.00Hz のとき：1 番を ON にする。
  - 現在のシステム周波数から変更したときは、本機が再起動する。
  - 外部モニターに何も表示されないとき( 50)
2. フレームレートを選ぶ
  - MENU > [Other Functions] > [Frame Rate] > いずれかを選ぶ
3. 解像度を選ぶ
  - MENU > [Other Functions] > [Resolution] > いずれかを選ぶ

## カメラモードを選ぶ

|                              |  |
|------------------------------|--|
| Auto                         | 露出が適正になるように、アイリス <sup>※</sup> 、ゲイン、シャッタースピードを自動で調整します。   |
| Tv (シャッター優先 AE) <sup>※</sup> | シャッタースピードを手動で設定できます。シャッタースピードを設定すると被写体の明るさに応じて、アイリス、ゲインを自動で調整します。低照度から動きの速い被写体まで撮影環境に合わせて撮影できます。 |
| Av (絞り優先 AE) <sup>※</sup>    | 絞り(アイリス)を手動で設定できます。絞り値(F 値)を設定すると被写体の明るさに応じて、ゲイン、シャッタースピードを自動で調整します。絞り値を調整すると、被写界深度を変えて撮影できます。   |
| AGC (Auto Gain Control)      | シャッタースピードと絞り(アイリス)を手動で設定できます。シャッタースピード、アイリスを設定すると被写体の明るさに応じて、ゲインを自動で調整します。                       |
| Manual                       | アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスを手動で調整できます。   |

※ ML-105 EF のみ

1. 撮影画面でカーソルを表示する
  - RC-V100 の SET ボタンを押すと、カーソルが表示される。
2. カメラモードの表示を選ぶ
  - RC-V100 の左/右ボタンを押して、カメラモードの表示にカーソルを合わせる。
3. カメラモードを選ぶ
  - RC-V100 の上/下ボタンを押して、設定したいカメラモードを選ぶ。
  - SET ボタンを押すと、設定が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。



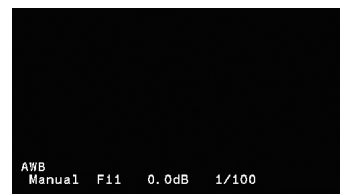
### MEMO

- MENU > [Camera Setup] > [AE Response] で、自動露出の応答性を変更できます(カメラモードが [Manual] 以外のとき、またはブッシュオートアイリスを使用時)。
- MENU > [Camera Setup] > [Auto Slow Shutter] で、カメラモードが [Auto] または [Av] のときのシャッタースピードを、現在設定しているフレームレートより下げないように設定できます。
- カメラモードが [Manual] 以外のときに明るさが変わると、露出がなめらかに変化しないことがあります。
- はじめて電源を入れたときや、MENU > [Other Functions] > [Reset] > [All Settings]、または [Camera Settings] で設定をリセットしたときは、カメラモードが [Auto] になります。
- カメラモードが [Manual] 以外のとき、ホワイトバランスは自動で調整しますが、手動でも操作できます。

## カメラダイレクト設定を使う

画面を見ながら、カメラモード、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスを設定できます(カメラダイレクト設定)。各機能の詳細については、それぞれの説明ページをご覧ください。

1. カメラダイレクト設定に入る
  - 撮影画面で、RC-V100 の SET ボタンを押すと、カーソルが表示される。
2. カメラモードを [Auto] 以外に設定する( 22)
3. 機能を選ぶ
  - RC-V100 の左／右ボタンを押して、設定したい機能にカーソルを合わせる。



設定内容／設定値を選ぶ

- RC-V100 の上／下ボタンを押して、設定内容や設定値を選ぶ。
- SET ボタンを押すと、設定が決定され、カメラダイレクト設定を終了する。

### MEMO

- RC-V100 のアサインボタンを使用するとき、カメラモードを割り当てたアサインボタンを押すごとに、カメラモードが切り替わります。
- EF レンズを使用時、ワンショット AF とプッシュオートアイリスは同時に使用できません。
- RC-V100 の FOCUS ダイアルを操作中に、アサインボタンに割り当てたプッシュオートアイリスを使用できません。
- カメラダイレクト設定が終了するとき
  - 約 6 秒間操作しなかったとき
  - RC-V100 の MENU ボタンや CANCEL ボタンを押したとき

## アイリスを調整する(ML-105 EF のみ)

被写体の明るさに応じて、アイリス(絞り)を調整します。設定可能な値(F 値)は、取り付けたレンズによって異なります。

|                |  |
|----------------|--|
| Manual         | カメラモードが [Av]、[AGC]、[Manual] のとき<br>任意の F 値に手動調整する。 |
| Push Auto Iris | カメラモードが [Manual] のとき<br>アサインボタンで F 値を一時的に自動調整する。   |

## レンズのアイリスモードを選ぶ

カメラからのアイリス調整に対応するレンズを使うときは、レンズのアイリスモードを「オート」にします。レンズの操作部名称がレンズによって異なることがあります。詳しくは、レンズの説明書をご覧ください。

## マニュアルで調整する

1. カメラモードを[AV]、[AGC] または [Manual] に設定する
2. F 値の刻み幅を選ぶ
  - ① MENU > [Camera Setup] > [Iris Increment] > [1/2 stop]、[1/3 stop] または [Fine] を選ぶ  
[Fine]: [1/3 stop] よりも細かい刻み幅。
  - ② メニューを閉じる
3. アイリスを調整する
  - ① カメラダイレクト設定で、F 値を選ぶ
  - ② 任意の値を選ぶ
    - RC-V100 の左/右ボタンで F 値にカーソルを合わせ、上/下ボタンで任意の値を選ぶ。
    - 操作 2 で [Fine] を選んだときは、1/3 stop 刻みで表示される。
    - RC-V100 の IRIS ダイアルを時計回りに回すと F 値が小さくなり、反時計回りに回すと F 値が大きくなる。

### MEMO

- EF シネマレンズを装着しているとき
  - ー アイリスがクローズに近づくと、F 値は灰色文字で表示されます。そのあと、F 値は白色文字で [Clsd] と表示されますが、[Clsd] と表示されていても、アイリスが完全に閉じていないことがあります。
  - ー アイリスがオープン、またはクローズの状態から F 値を変更する場合、アイリスの動作に複数回の調整操作が必要な場合があります。
- ズーム操作により F 値が変化する EF レンズを装着したときは、ズーム操作に連動して F 値を補正することができません(42)。  
\* 一部の EF レンズや EF シネマレンズを除く。
- IRIS ダイアルでアイリスを調整するとき、ダイアルの回転方向を変更できます。RC-V100 の説明書をご覧ください。
- 本機で表示、または設定する F 値は目安です。



## 一時的に自動で調整する (Push Auto Iris)

リモートコントローラーRC-V100 のアサインボタンに[Push Auto Iris] (プッシュオートアイリス)を割り当てると、ボタンを押している間、アイリスを自動的に調整して適正な露出にします。

1. RC-V100 のアサインボタン 1~4 のいずれかに [Push Auto Iris] を割り当てる (📖 35)
2. カメラモードを [Manual] に設定する
3. [Push Auto Iris] を割り当てたアサインボタンを押し続ける
  - 適正露出になるように絞りが自動的に調整される。
4. アサインボタンを離す
  - アイリスの自動調整が終了し、F 値はボタンを離したときの値で固定される。

### MEMO

- MENU > [Camera Setup] > [AE Response] で、自動露出の応答性を変更できます(カメラモードが [Manual] 以外のとき、または プッシュオートアイリスを使用時)。
- RC-V100 の FOCUS ダイアル操作中は、プッシュオートアイリスを使用できません。

## 露出を調整する

### マニュアルで調整する(AE Shift)

カメラモードが [Manual] 以外るとき、または プッシュオートアイリスで絞りを自動調整するときは、露出を意図的に補正して明るめや暗めに撮影できます。

<設定値> -2.0 段～+2.0 段 (0.25 段刻み)

- MENU > [Camera Setup] > [AE Shift] > いずれかの値を選ぶ

#### MEMO

- [AE Shift +] と [AE Shift -] を割り当てた RC-V100 のアサインボタンで、調整することもできます。
- プッシュオートアイリスと AE シフトは、同時に調整できません。

### 測光方式を設定する

カメラモードが [Manual] 以外るとき、または プッシュオートアイリスで絞りを自動調整するときは、撮影シーンに合わせて測光方式を設定すると、より適正な明るさで撮影できます。

|           |   |
|-----------|---|
| Backlight | 逆光のシーンを撮影するとき、画面中の暗部をより明るく制御する。                         |
| Standard  | 画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。                            |
| Spotlight | スポットライトが当たった被写体を撮影するとき、スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。 |

- MENU > [Camera Setup] > [Light Metering] > いずれかを選ぶ

#### MEMO

- カメラモードが [Manual] のとき、測光方式を変えても露出は変更されません。手動で適正露出に調整してください。

## ゲインを調整する

### マニュアルで調整する

<設定値> 0.0dB ~ 75.0dB (3.0dB 刻み)

1. カメラモードを [Manual] に設定する
2. カメラダイレクト設定で、ゲインを調整する
  - RC-V100 の左／右ボタンでゲインにカーソルを合わせ、上／下ボタンで任意のゲインを選ぶ。
  - RC-V100 の ISO/GAIN 上ボタンを押すとゲインが上がり、下ボタンを押すとゲインが下がる。

#### ご注意

- ゲインの設定値が高いとき、強い光源が入力されると、著しい画質劣化が生じる場合があります。

#### MEMO

- ゲインを上げると、画面が多少ざらつくことがあります。
- ゲインを上げると、画面に赤、緑、青の輝点が出る場合があります。このときはシャッタースピードを上げるか、ゲインを下げてください。

### ゲインの上限値を設定する(AGC Limit)

カメラモードが [Manual] 以外るとき、ゲインの自動調整の上限値を設定しておく、ゲインが上がることによるノイズの発生を抑制できます。(AGC: Auto Gain Control)

<設定値> Off (75dB) 、24dB~72dB (3dB 刻み)

1. MENU > [Camera Setup] > [AGC Limit] > いずれかの値を選ぶ

## シャッタースピードを調整する

シャッタースピードを調整すると、動きの速い被写体を鮮明に撮影する、低照度のシーンを明るく撮影するなど被写体や撮影環境に合わせて撮影できます。

<設定値> 9.51 ~ 1/24000 秒 (全 67 設定)

1. カメラモードを [Manual]、[Tv] または [AGC] に設定する
2. カメラダイレクト設定で、シャッタースピードを選ぶ
  - RC-V100 の左/右ボタンでゲインにカーソルを合わせ、上/下ボタンで任意のシャッタースピードを選ぶ。
  - RC-V100 の SHUTTER 上ボタンを押すとシャッタースピードが上がり、下ボタンを押すとシャッタースピードが下がる。

### MEMO


- 人工光源(蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなど)の照明下でフリッカーが気になるとき
  - MENU > [Camera Setup] > [Flicker Reduction] > [Automatic] を選ぶと、人工光源のフリッカーを自動的に検知して補正します。撮影条件によっては、補正できないこともあります。
  - 人工光源の照明下で撮影する場合、設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出る場合があります。フリッカーは、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると、抑制できることがあります。電源周波数が 50Hz のときは 1/50 秒<sup>\*</sup>、または 1/100 秒を、60Hz のときは 1/60 秒、または 1/120 秒を選んでください。
  - ※ フレームレートによっては選択できません。
- カメラモードが [Tv] のときに、設定できるシャッタースピードは下記のとおりです。
  - システム周波数が [59.94Hz] のとき: 1/4 ~ 1/24000 秒  
フレームレートが 23.98P の場合は 1/3.36 ~ 1/24000 秒
  - システム周波数が [50.00Hz] のとき: 1/3.36 ~ 1/24000 秒
- シャッタースピードが 1 秒以上のとき、下記の動作に時間がかかることがあります(最長約 30 秒)。
  - 電源入力時に映像が出力されるまで
  - カラーバー表示の切り換え、フレームレートの切り換え、システム周波数の切り換え
- シャッタースピードの表示について
  - 1 秒より遅い場合の表示例: [9"51] は 9.51 秒を、[8"] は 8 秒を表しています。

## ホワイトバランスを調整する

照明や太陽光の光源の色温度に応じて、ホワイトバランスを設定できます。

|                            |   |
|----------------------------|---|
| オートホワイトバランス(AWB)           | 常に適切なホワイトバランスになるように自動調整します。                                 |
| ホワイトバランスセット<br>(WB-A、WB-B) | グレーカードや白い無地の被写体を映して基準白色を取り込みます。[WB-A]、[WB-B]の2種類の設定を登録できます。 |
| プリセット設定(DyIt、Tung)         | [DyIt] (太陽光)、[Tung] (電球)のいずれかを選びます。                         |

### MEMO

- カスタムピクチャーの [Color Matrix] または [White Balance] を設定しているときは、それらの設定がホワイトバランス設定より優先されます。
- MENU > [Camera Setup] > [Shockless WB] を [On] にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値をなめらかに変化させます。
- ホワイトバランスの調整時、明るい部分(飽和した部分)に色かぶりが生じたときに、MENU > [Camera Setup] > [WB Limit] を [On] にすると、色かぶりを抑えることができます(ハロゲンライトの照明下での撮影時など)。(41)
- RC-V100 の A/B ボタン、PRESET ボタン、 ボタン、AWB ボタンを使って、調整できます。
- 本機には、UV-IR カットフィルターが搭載されておりません。可視光でのカラー撮影をするときは、UV-IR カットフィルター(市販品)をレンズに装着してください。動作確認済みの UV-IR カットフィルターについては、キヤノンのホームページをご覧ください。

## オートホワイトバランスで調整する (AWB)

常に適切なホワイトバランスになるように自動で調整します。光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスも自動的に調整します。

1. カメラダイレクト設定で、オートホワイトバランスを選ぶ
  - RC-V100 の左/右ボタンでホワイトバランスにカーソルを合わせ、上/下ボタンで [AWB] を選ぶ。


### MEMO

- オートホワイトバランスで画面の色が不自然なときは次のような条件で撮影する場合、画面の色が不自然なときは、ホワイトバランスセットで調整してください。
  - － 照明条件が急に変わる場所での撮影
  - － クローズアップ撮影
  - － 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影
  - － 水銀灯や一部の蛍光灯/LED 照明下での撮影

## ホワイトバランスセットで調整する

実際に撮影する環境下で基準白色を取り込みます。[WB-A] と [WB-B] の 2 種類の設定を登録できます。

1. カメラダイレクト設定で、ホワイトバランスセットを選ぶ
  - RC-V100 の左/右ボタンでホワイトバランスにカーソルを合わせ、上/下ボタンで [WB-A] または [WB-B] を選ぶ。
  - 新しいホワイトバランスセットを登録するときは、選んだ[WB-A] または [WB-B] が画面上で点滅する。
  - 登録済みのホワイトバランスセットを選んだときは、以降の操作は不要。選んだ[WB-A] または [WB-B]は画面上で点滅しない。

2. 実撮影と同じ照明条件下にグレーカードや白い無地の被写体を置き、画面いっぱいに写す
3. 基準白色を取り込んで、登録する
  - RC-V100 の  ボタンを押す。
  - [WB-A] または [WB-B] が速く点滅する。
  - 調整中は、グレーカードや白の無地の被写体を画面いっぱいに写し続ける。
  - 点滅→点灯に変わったら調整が終わり、登録される。登録したホワイトバランスセットは、電源を切っても記憶されている。

## MEMO

- 場所や明るさが変わったときは、ホワイトバランスを再調整してください。
- 光源によっては、ごくまれに [WB-A]、[WB-B] が速い点滅→点灯に変わらない(速い点滅から遅い点滅に変わる)ことがあります。そのときでもオートホワイトバランスより適切に調整されていますので、そのまま撮影できます。

## プリセット設定で調整する

屋外(太陽光)用、または屋内(電球)用のプリセット設定を選んでホワイトバランスを調整できます。

<設定値> プリセット設定([Dylt]、[Tung])： +9 ～ -9

1. カメラダイレクト設定で、プリセット設定を選ぶ
  - RC-V100 の左/右ボタンでホワイトバランスにカーソルを合わせ、上/下ボタンで [Dylt] または [Tung] を選ぶ。
2. 調整する
  - 左/右ボタンで調整値にカーソルを合わせ、上/下ボタンで任意の調整値を選ぶ。

## MEMO

- MENU > [Camera Setup] > [WB Limit] が [On] のとき、[Tung] は使用できません。

## フォーカスを調整する

取り付けられたレンズによって、次の方法でフォーカスを調整できます。

|            |  |
|------------|--|
| マニュアルフォーカス | レンズのフォーカスリングを回して、手動でフォーカスを調整する。                                |
| ワンショット AF  | アサインボタンで一時的にフォーカスを自動調整する。<br>(マニュアルフォーカスレンズ装着時を除く。ML-105 EFのみ) |

### 調整方法と必要な設定

使用できる調整方法は、レンズによって異なります(📖47)。

| フォーカス調整    | 調整方法                                   | レンズのフォーカスモードスイッチ<br>(フォーカスサーボ/マニュアル切替えノブ) |
|------------|--|---|
| マニュアルフォーカス | フォーカスリング                               | MF / MANU.                                |
|            | RC-V100 の FOCUS ダイヤル                   | AF / SERVO                                |
| ワンショット AF  | RC-V100 のアサインボタン<br>(One-Shot AF 割り当て) | AF / SERVO                                |

### レンズのフォーカスモードを選ぶ

カメラからのフォーカス調整に対応するレンズを使うときは、レンズのフォーカスモード(オート、マニュアル)を選択にします。レンズの操作部名称がレンズによって異なることがあります。詳しくは、レンズの説明書をご覧ください。

### マニュアルで調整する

1. レンズのフォーカスモードをマニュアルにする
2. フォーカスリングを回して、ピントを合わせる
  - RC-V100 の FOCUS ダイヤルを時計回りに回すと無限遠方向に、反時計回りに回すと至近方向にフォーカスを調整できます(調整方向は、RC-V100 側の設定で変更できます)。

### ワンショット AF で調整する (One-Shot AF) (ML-105 EF のみ)

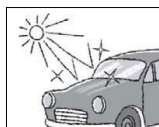
被写体に自動でピントを合わせます。[One-Shot AF] を割り当てた RC-V100 のアサインボタンを使って操作したときに 1 度だけ合焦動作を行います。

1. レンズのフォーカスモードをオートにする
2. アサインボタン 1~4 のいずれかに [One-Shot AF] を割り当てる (📖35)
3. カメラモードを [Manual] に設定する
4. [One-Shot AF] を割り当てたアサインボタンを押し続ける
  - フォーカスを調整している間、撮影画面の [AF] が速く点滅する。ピントが合うと [AF] が点灯に変わる。
  - ワンショット AF が使用できないときや、ピントが合わないときは撮影画面の [AF] が赤文字で遅く点滅する。
5. アサインボタンを離す
  - フォーカスの自動調整が終了し、[AF] は消える。

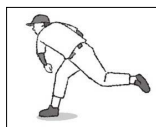
## MEMO

- ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。
- フォーカス調整時にレンズの先端部分やフォーカスリングが動くときは、動いている部分に触れないでください。
- マニュアルで調整するとき
  - － EF レンズによっては、フォーカスモードスイッチを AF にしたまま、フォーカスリングで調整できます。
  - － RC-V100 を使ってフォーカスを調整するときは、レンズのフォーカスモードスイッチ(またはフォーカスサーボ／マニュアル切替えノブ)を、AF(または SERVO)のままにしてください。
  - － RC-V100 の FOCUS ダイアルでフォーカスを調整するとき、ダイアルの回転方向を変更できます。RC-V100 の説明書をご覧ください。
- 自動で調整するとき
  - － ゲインを上げると、ピントが合いにくくなる場合があります。
  - － カスタムピクチャーで、ガンマを Wide DR、または Canon Log に設定すると、ピントが合いにくくなる場合があります。
  - － ピントが合う位置は、被写体条件や明るさ、ズーム位置などの撮影条件によってわずかに変動します。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。
- ピント合わせに時間がかかる場合
  - － フレームレートが 29.97P、25.00P、25.00PsF、23.98P のいずれかするとき。
  - － 一部の EF レンズでは、ピントが合うまでの時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。詳細情報については、キヤノンのホームページでご確認ください。
- ワンショット AF は、シャッタースピードが 1/6.73 秒以下の遅い速度の場合、動作しません(フレームレートが 23.98P / 50.00P / 50.00i / 25.00P / 25.00PsF のときは 1/5.66 秒以下)。

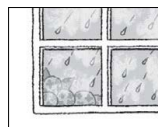
## 自動でピントが合いにくい撮影条件



強い光が反射

画面中央に  
明暗差がない

動きが速い

水滴が付いた  
ガラス越しの撮影

低照度

## フォーカスリミットを設定する

ワンショット AF でフォーカスを調整するとき、装着しているレンズの至近側～無限遠側の範囲でフォーカスを制限するかどうかを選べます。

## フォーカスの制限位置を設定する

1. レンズのフォーカスモードをオートにする
2. MENU > [Camera Setup] > [Focus Limit] > [Activate] > [On] を選ぶ
  - フォーカスの制限位置が有効になる。
3. 制限したいフォーカス位置にフォーカスを合わせる
4. 無限遠側を制限するとき: MENU > [Camera Setup] > [Focus Limit] > [Far] を選ぶ  
 至近側を制限するとき: MENU > [Camera Setup] > [Focus Limit] > [Near] を選ぶ
  - [Limit Off] が表示される。フォーカス制限位置が設定されているときは [Limit On] が表示される。
5. [Set] を選ぶ
  - 解除するときには、[Reset]を選ぶ。



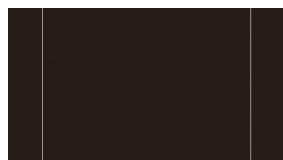
## MEMO

- 電源を切る、またはレンズを交換すると、フォーカスリミットの設定が解除されます。電源を入れ直したり、レンズを交換したときは、設定し直してください。
- フォーカスの制限は、後から設定した位置が優先されます。  
先に設定した無限遠側の制限位置が、後から設定した至近側の制限位置内に入ったときは、至近側の制限位置が優先されます(無限遠側の制限位置は解除されず)。
- フォーカスが制限されている状態でワンショット AF を実行し、制限位置内にフォーカスが合うポイントがないとき、フォーカスはワンショット AF を実行する前のフォーカス位置付近に戻ります。
- フォーカスの制限後にズーム操作を行うと、フォーカスの制限位置がズレます。制限値を再設定してください。
- 撮影距離範囲切り換えスイッチを搭載したレンズを使用する場合、本機のフォーカスリミットと、レンズ側の撮影距離範囲の切り換えは、同時に使用できません。

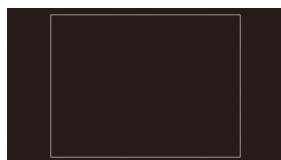
## アスペクトマーカーを表示する

撮影画面にアスペクトマーカーを表示できます。

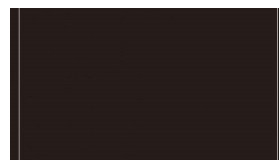
<設定内容> 色: 黒、灰色、白  
アスペクト比: 4:3、4:3 S35mm(スーパー35mm)、1.66:1、1.85:1、2.39:1



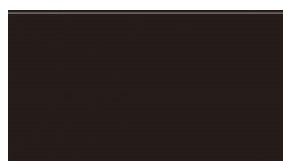
4:3



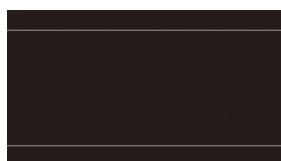
4:3 S35mm



1.66:1



1.85:1



2.39:1

## アスペクトマーカーを表示する

1. MENU > [Other Functions] > [Aspect Marker] > [Activate] > [On] を選ぶ
  - アスペクトマーカーの表示を確認するときは、RC-V100 の MENU ボタンを押す。もう一度、MENU ボタンを押すと、メニュー画面に戻る。
2. アスペクトマーカーの色を選ぶ  
MENU > [Other Functions] > [Aspect Marker] > [Color] > いずれかを選ぶ
3. アスペクト比を選ぶ  
MENU > [Other Functions] > [Aspect Marker] > [Ratio] > いずれかを選ぶ

### MEMO

- [Aspect Marker] を割り当てた RC-V100 のアサインボタンを押して、アスペクトマーカーの表示を入/切できます。


## 4 カスタマイズ

### アサインボタンを使う

リモートコントローラーRC-V100 のアサインボタンに使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズできます。RC-V100 には、4 個のアサインボタンがあります。

必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用します。アサインボタンを押すと、撮影画面に機能の詳細項目を選ぶメニューが表示されることがあります。そのときは、上/下ボタンを押して項目を選び、SET を押します。

アサインボタンに割り当てることができる機能は、次のとおりです。

| 機能名                         | 内容                                    |  |
|-----------------------------|---------------------------------------|---|
| (NONE)                      | 割り当てなし                                | -   |
| One-Shot AF <sup>※</sup>    | ワンショット AF を実行する。(ML-105 EF のみ)        | 31  |
| Push Auto Iris <sup>※</sup> | プッシュオートアイリスを実行する。(ML-105 EF のみ)       | 25  |
| ABB                         | オートブラックバランスのメニューを表示する。                | 17  |
| AE Shift +                  | 露出を明るめに調整する。                          | 26  |
| AE Shift -                  | 露出を暗めに調整する。                           |   |
| Color Bars                  | カラーバーを表示する。                           | 42  |
| Aspect Marker               | アスペクトマーカを表示する。                        | 34  |
| Set WB <sup>※</sup>         | ホワイトバランスセットを登録する。ホワイトバランスのプリセットを設定する。 | 29  |
| Tele-converter              | デジタルズームを使用する。拡大率:2 倍、3 倍、4 倍          | 42  |
| Monochrome                  | モノクロ表示にする。                            | 43  |
| External Rec <sup>※</sup>   | 外部レコーダーに記録の開始と停止を要求する。                | -   |
| Custom Picture              | [Custom Picture] メニューを開く。             | 36  |
| Camera Mode                 | カメラモードを切り換える。                         | 22  |

※ アサインボタンでのみ使用できる機能

### アサインボタンの機能を変更する

- MENU > [Other Functions] > [Assignable Buttons] > いずれかのアサインボタンを選ぶ
- 任意の機能を選ぶ
  - 選んだ機能がアサインボタンに割り当てられる。

## カスタムピクチャーを使用する

撮影条件に合わせる、意図的に効果をつけるなど画質を調整する設定ができます。調整した設定値はカスタムピクチャーファイルとして本機に登録し、必要に応じて呼び出せます。

| 機能分類                | 機能        | 設定項目                 |
|---------------------|-----------|----------------------|
| 光の階調に関わるグループ        | ガンマ       | Gamma                |
|                     | ブラック      | Black                |
|                     | ブラックガンマ   | Black Gamma          |
|                     | ニー        | Knee                 |
| 輪郭やノイズに関わるグループ      | シャープネス    | Sharpness            |
|                     | ノイズリダクション | Noise Reduction      |
| 色の方向性、強さ、変換に関するグループ | カラーマトリックス | Color Matrix         |
|                     | カラーゲイン    | Color Matrix - Gain  |
|                     | 色相        | Color Matrix - Phase |
|                     | ホワイトバランス  | White Balance        |
|                     | カラーコレクション | Color Correction     |

## カスタムピクチャーファイルを選ぶ

撮影に使用するカスタムピクチャーファイルを選択します。あらかじめ、画質設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておく、リストから選ぶだけで希望の画質の調整値になります。

- MENU > [Custom Picture] > [Select File] を選ぶ
  - カスタムピクチャーファイルが選択可能になる。
- 設定したいカスタムピクチャーファイル(CP1～CP7)を選ぶ
  - 設定値が登録済みのときは、登録されている設定値に調整される。

## カスタムピクチャーのプリセットについて

| プリセット名    | ガンマ       | 特長   |
|-----------|-----------|--|
| Wide DR   | Wide DR   | ポストプロダクション処理なしで使用でき、広いラチチュードを持つガンマと、ガンマに合わせたカラーマトリックスを適用する設定。              |
| Canon Log | Canon Log | ガンマとカラーマトリックスを Canon Log にすることにより、ダイナミックレンジが広く、ポストプロダクション処理に適した色調の映像を記録する。 |

### MEMO

- RC-V100 のアサインボタンに [Custom Picture] を割り当てることもできます。
- RC-V100 の CUSTOM PICT. ボタンを押すと、[Custom Picture] メニューを表示できます。
- RC-V100 を使って画質の調整を行うと、選択中のカスタムピクチャーファイルの設定が変更／登録されます。
- プリセットのカスタムピクチャーファイルを選んでいると、カスタムピクチャーの設定を RC-V100 から調整できません。

## カスタムピクチャーファイルに登録する

撮影時に良く使う画質調整設定をカスタムピクチャーファイルとして登録しておく、次に使用するときに、リストから選ぶだけで同じ設定を簡単に呼び出せます。

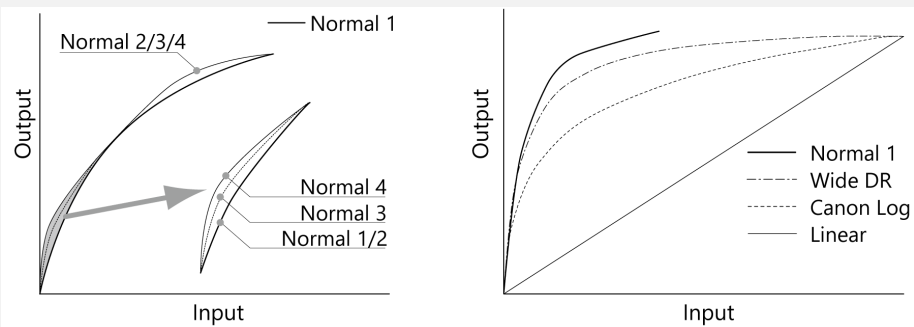
1. MENU > [Custom Picture] > [Select File] > CP1～CP7 のいずれかを選ぶ
2. 調整する機能を選ぶ  
MENU > [Custom Picture] > [Fine Tuning] > どれかを選ぶ
3. 設定値を選ぶ

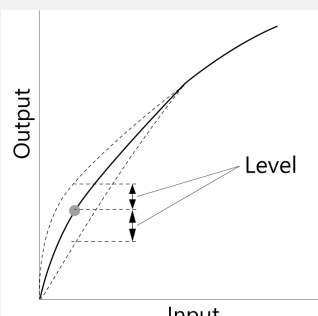
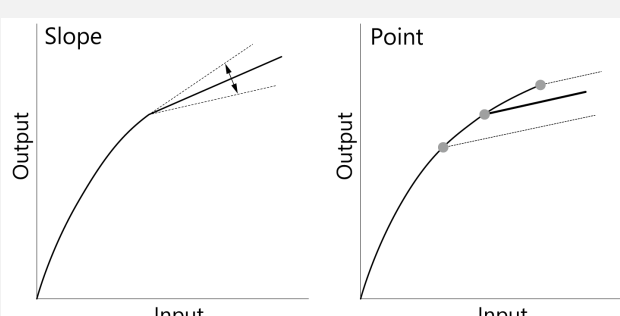
### 初期設定に戻すとき

1. MENU > [Custom Picture] > [Fine Tuning] > [Reset] を選ぶ
2. [Neutral]、[Wide DR]、[Canon Log]、[Linear] のいずれかを選ぶ
3. [OK] を選ぶ

## カスタムピクチャーの設定項目

カスタムピクチャーではさまざまな項目を調整できます。初期設定は太字で記載しています。

| 設定項目  | 設定値／内容   |
|-------|--|
| Gamma | <p><b>Normal 1</b>、Normal 2、Normal 3、Normal 4、Wide DR、Canon Log、Linear</p> <p>ガンマカーブを選ぶ。</p> <p>Normal 1: TV モニターで見るとき。</p> <p>Normal 2: TV モニターで見るとき。Normal 1 に対して高輝度部をより明るく撮影。</p> <p>Normal 3: TV モニターで見るとき。Normal 2 に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。</p> <p>Normal 4: TV モニターで見るとき。Normal 3 に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。</p> <p>Wide DR: Normal 1 に対して広いダイナミックレンジ。ポストプロダクション処理なしで、TV モニターで見るとき。</p> <p>Canon Log: 撮像素子の特性を最大限に引き出し、広いダイナミックレンジ。ポストプロダクション処理が前提。</p> <p>Linear: ガンマを適用せず、輝度の入出力特性を線形にする。研究用途等において、輝度の入出力特性のデータ処理を行うときに使用。</p> |
|       |    |

|  |  |
|--|--|
| Black  |  |
| Master Pedestal、<br>Master Black Red、<br>Master Black Blue | <p>−50 ~ +50 (±0)</p> <p>Master Pedestal: 黒のレベルを調整する。レベルをプラスにすると黒が浮き、マイナスにすると黒が沈む。</p> <p>Master Black Red、Master Black Blue: 黒の色かぶりをRB個別に補正する。</p>  |
| Black Gamma  |  |
|  | <p>−50 ~ +50 (±0)</p> <p>低輝度部のガンマを補正する。値を変えることで、図の範囲内で黒側のガンマカーブを調整する。</p> <p>[Gamma] &gt; [Wide DR]、[Canon Log] または [Linear] を選択したときは、無効。基準ガンマからの高さ(Level)を調整する。</p>   |
|  |  <p>The graph shows a curve representing the gamma response. A dashed line indicates a level adjustment, with a vertical arrow labeled 'Level' showing the change in output for a given input.</p>        |
| Knee   |  |
| Active   | <b>On</b> 、Off   |
| Slop   | −35 ~ +50 (±0)   |
| Point  | 50 ~ 109 (95)  |
|  | <p>高輝度部分を圧縮して、とびの発生を抑える。</p> <p>[Gamma] &gt; [Wide DR]、[Canon Log] または [Linear] を選択したときは、無効。</p> <p>Activate: On にすると、ニーの調整を有効にする。</p> <p>Slope: ニーの傾き。</p> <p>Point: ニーポイント。</p>  |
|  |  <p>The left graph, labeled 'Slope', shows a curve where the slope of the knee region is adjusted. The right graph, labeled 'Point', shows a curve where the position of the knee point is adjusted.</p> |
| Sharpness  |  |
|  | <p>−10 ~ +50 (±0)</p> <p>輪郭強調のレベルを調整する。</p>  |
| Noise Reduction  |  |
|  | <p><b>Off</b>、1 ~ 12</p> <p>ノイズを低減するノイズフィルターを選ぶ。数値が大きくなるほど、ノイズ低減効果が大きくなる。</p>  |

## Color Matrix

|      |          |
|------|----------|
| Gain | ±50 (±0) |
|------|----------|

|       |          |
|-------|----------|
| Phase | ±18 (±0) |
|-------|----------|

|                             |          |
|-----------------------------|----------|
| R-G、R-B、G-R、<br>G-B、B-R、B-G | ±50 (±0) |
|-----------------------------|----------|

映像の色調を調整する。

Gain: 色の濃さを調整する。

Phase: 色相を調整する。

R-G: シアンからグリーン、レッドからマゼンタの色調を調整する。

R-B: シアンからブルー、レッドからイエローの色調を調整する。

G-R: マゼンタからレッド、グリーンからシアンの色調を調整する。

G-B: マゼンタからブルー、グリーンからイエローの色調を調整する。

B-R: イエローからレッド、ブルーからシアンの色調を調整する。

B-G: イエローからグリーン、ブルーからマゼンタの色調を調整する。

## White Balance

|               |                |
|---------------|----------------|
| R Gain、B Gain | -50 ~ +50 (±0) |
|---------------|----------------|

ホワイトバランスのシフト量を調整する。

R Gain: 赤色の濃淡を調整する。

B Gain: 青色の濃淡を調整する。

## Color Correction

|             |                                    |
|-------------|------------------------------------|
| Select Area | <b>Off</b> 、Area A、Area B、Area A&B |
|-------------|------------------------------------|

## Area A Setting

|       |               |
|-------|---------------|
| Phase | <b>0</b> ~ 31 |
|-------|---------------|

|                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| Chroma、Area、<br>Y Level | 0 ~ 31 ( <b>16</b> ) |
|-------------------------|----------------------|

## Area A Revision

|       |          |
|-------|----------|
| Level | ±50 (±0) |
|-------|----------|

|       |          |
|-------|----------|
| Phase | ±18 (±0) |
|-------|----------|

## Area B Setting

|       |               |
|-------|---------------|
| Phase | <b>0</b> ~ 31 |
|-------|---------------|

|                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| Chroma、Area、<br>Y Level | 0 ~ 31 ( <b>16</b> ) |
|-------------------------|----------------------|

## Area B Revision

|       |          |
|-------|----------|
| Level | ±50 (±0) |
|-------|----------|

|       |          |
|-------|----------|
| Phase | ±18 (±0) |
|-------|----------|

特定の範囲の色調を補正する。

Select Area: 補正する色の範囲を2種類設定できる。補正は、Area Aのみ、Area Bのみ、またはArea A / Area Bの両方を選択できる。

Area A Setting、Area B Setting:

Area A / Area Bの補正する色の範囲を設定する。Phase(色相)、Chroma(彩度)、Area(色相の幅)、Y Level(輝度レベル)をそれぞれ設定する。

Area A Revision、Area B Revision:

Area A / Area Bの色の補正量を設定する。Levelは色の濃さ、Phaseは色相の補正量を設定する。

## MEMO

- RC-V100 のダイヤルで調整できる機能  
Master Pedestal、Master Black Red、Master Black Blue、Black Gamma、Knee-Slope、Knee-Point、Sharpness、  
White Balance R Gain、White Balance B Gain

## 表示をカスタマイズする

撮影画面の表示項目をカスタマイズして、撮影環境や目的に合わせて、より使いやすいように設定できます。表示項目の詳細はメニュー一覧の [Custom Display] (📖44)をご覧ください。

1. MENU > [Other Functions] > [Custom Display] > いずれかを選ぶ
2. 設定値を選ぶ



## 5 メニュー一覧

各メニューで設定できる項目と設定値について説明します。初期設定は太字で記載しています。

メニュー設定の基本操作については「メニューで設定を変える」(P16)をご覧ください。メニューの項目は、他の機能との設定状態によっては表示されなかったり、使用できなかったりすることがあります。

### Camera Setup メニュー

| 設定メニュー            | 設定値／内容  |
|-------------------|---|
| Light Metering    | Backlight、 <b>Standard</b> 、Spotlight<br>アイリスを自動調整するときの測光方式を設定する(P26)。<br>Backlight: 逆光時の暗部をより明るく制御する。<br>Standard: 画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。<br>Spotlight: スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。 |
| AE Shift          | +2.0 ~ -2.0 ( <b>±0</b> )、0.25 段刻み<br>自動露出(カメラモードが [Manual] 以外のとき)や、プッシュオートアイリスを使用時(カメラモードが [Manual] のとき)に、明るさ目標値を設定して、17 段階で露出補正を行う(P26)。  |
| AE Response       | High、 <b>Normal</b> 、Low<br>自動露出の応答性を選ぶ(カメラモードが [Manual] 以外のとき、またはプッシュオートアイリスを使用時)。   |
| AGC Limit         | <b>Off (75dB)</b> 、24dB ~ 72dB、3dB 刻み<br>ゲインの上限値を設定し、ゲインが上がることによるノイズを防ぐ(P27)。   |
| Auto Slow Shutter | <b>On</b> 、Off<br>カメラモードが [Auto] または [Av] のときのシャッタースピードの動作を設定する。<br>[Off] にすると、カメラモードが [Auto] のときのシャッタースピードが、現在設定しているフレームレートより下にならない。   |
| Flicker Reduction | Automatic、 <b>Off</b><br>人工光源のフリッカー低減を設定する。[Automatic] にすると、自動でフリッカーを検知して補正する。  |
| Shockless WB      | On、 <b>Off</b><br>[On] にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値をなめらかに変化させる。  |
| WB Limit          | On、 <b>Off</b><br>ホワイトバランスの調整時、明るい部分(飽和した部分)に色かぶりが生じたときに [On] にすると、色かぶりを抑える(ハロゲンライトの照明下での撮影時など)。<br>ホワイトバランスのプリセット設定で [Tung] を選択しているときは、設定できない。   |

|                                      |          |   |
|--------------------------------------|----------|---|
| Iris Increment<br>(ML-105 EF のみ)     |          | <b>1/2 stop</b> 、1/3 stop、Fine<br>アイリスを調整するときの F 値の刻み幅を設定する。[Fine] にすると、[1/3 stop] より細かい刻み幅で設定できる。  |
| Zoom-Iris Correct.<br>(ML-105 EF のみ) |          | <b>On</b> 、 <b>Off</b><br>ズーム操作により F 値が変化するレンズ*を装着時、[On] にすると、設定した F 値を保つように絞りを補正する。ただし、絞りが動作するのにもない、若干の輝度のばらつきと動作音が発生する。[Off] にすると、望遠側にズームするに従って、徐々に F 値が大きくなる(暗くなる)。輝度変化は少なく、絞りの動作音は発生しない。<br>* 一部の EF レンズや EF シネマレンズを除く。 |
| Focus Limit<br>(ML-105 EF のみ)        | Activate | <b>On</b> 、 <b>Off</b><br>設定したフォーカスの制限位置の有効・無効を設定する( 32)。<br>[On] にすると、フォーカスの制限位置が有効になる。  |
|                                      | Far      | Set、Reset、 <b>Cancel</b><br>装着したレンズの無限遠側のフォーカス制限位置を設定する( 32)。<br>フォーカス制限位置が設定されていないときは [Limit Off]、フォーカス制限位置が設定されているときは [Limit On] と表示される。<br>Set: フォーカス制限位置を設定する。<br>Reset: 設定したフォーカス制限位置を初期化する。<br>Cancel: 設定操作をキャンセルする。  |
|                                      | Near     | Set、Reset、 <b>Cancel</b><br>装着したレンズの至近側のフォーカス制限位置を設定する( 32)。<br>フォーカス制限位置が設定されていないときは [Limit Off]、フォーカス制限位置が設定されているときは [Limit On] と表示される。<br>Set: フォーカス制限位置を設定する。<br>Reset: 設定したフォーカス制限位置を初期化する。<br>Cancel: 設定操作をキャンセルする。   |
| Tele-converter                       |          | 4×、3×、2×、 <b>Off</b><br>デジタルズームを設定する。拡大率は 4 倍と 3 倍、2 倍が選べる。映像をデジタル処理するため、画質は劣化する。   |
| EF-S Lens<br>(ML-105 EF のみ)          |          | <b>On</b> 、 <b>Off</b><br>EF シネマレンズを装着すると、周辺光量の低下が大きくなったり、ケラレが発生したりすることがある。EF シネマレンズを装着してケラレが発生したときに、センサーの切り出し範囲を変更する。[On] にすると、電子的に約 1.55 倍に拡大するため、画像が劣化する。  |
| ABB                                  |          | <b>Cancel</b> 、 <b>OK</b><br>ブラックバランスを自動調整する( 17)。  |
| Color Bars                           | Activate | <b>On</b> 、 <b>Off</b><br>カラーバー表示・非表示を設定する。[On] にすると、カラーバーが表示される。   |
|                                      | Type     | システム周波数が [59.94Hz] のとき: <b>SMPTE</b> 、ARIB<br>システム周波数が [50.00Hz] のとき: <b>EBU</b> 、SMPTE<br>カラーバーのタイプを設定する。システム周波数によって設定できるタイプが異なる。  |

|  |   |
|--|---|
| Monochrome                             | On、 <b>Off</b><br>画面をモノクロ表示にする。<br>下記の場合、設定できない。<br>● ワンショット AF 動作中、オートブラックバランス (ABB) 動作中、カラーバー表示中  |
| Periph. Illum. Corr.<br>(ML-105 EF のみ) | On、 <b>Off</b><br>周辺光量補正を設定する。[On] にすると、レンズの特性によって四隅が暗くなるのを補正する。撮影条件によっては、映像の周辺部にノイズが発生することがある。距離情報を持たないレンズでは、補正量が少なくなる。ゲインが高くなるほど、補正量が少なくなる。EFシネマレンズを装着して[Periph.Illum.Corr.] を [On] にするときは、Camera Setup メニュー > [EF-S Lens] を [On] にする。<br><br>[Periph.Illum.Corr.] が灰色に表示されて選べないとき<br>● 取り付けているレンズの補正データが本機にない。 |

## Custom Picture メニュー

| 設定メニュー      | 設定値/内容  |
|-------------|---|
| Select File | <b>Off</b> 、CP1~CP7、Wide DR、Canon Log<br>カスタムピクチャーファイルを選ぶ(📁36)。 |
| Fine Tuning | カスタムピクチャーの調整を行う(📁37)。   |

## Video Setup メニュー

| 設定メニュー                | 設定値/内容  |
|-----------------------|---|
| 3G-SDI Mapping        | Level A、 <b>Level B</b><br>3G/HD-SDI 端子の出力信号のマッピング方式を選ぶ。SMPTE ST 425-1 規格の Level A、または Level B に準拠した信号が出力される。       |
| Rec Command    Active | <b>On</b> 、Off<br>RC-V100 の START/STOP ボタン、または External Rec を割り当てた RC-V100 のアサインボタンから外部レコーダーへ記録の開始と停止が要求できるように設定する。 |
| Remove OSD            | On、 <b>Off</b><br>[On] にすると、外部レコーダーへ記録の開始を要求したときに、連動して撮影画面の画面表示を非表示にする。   |

## Other Functions メニュー

| 設定メニュー                        | 設定値/内容  |
|-------------------------------|---|
| Reset            All Settings | <b>Cancel</b> 、OK<br>本機の設定を初期状態に戻す。   |
| Camera Settings               | <b>Cancel</b> 、OK<br>ホワイトバランス、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、カスタムピクチャー、フォーカスリミットなどの各設定を初期状態に戻す。 |

|                    |  |   |
|--------------------|--|---|
| Device Number      |  | NU プロトコルを使用するときの装置番号を本機に設定する。<br>詳細については、お問い合わせ窓口にお問い合わせください。   |
| Assignable Buttons | 1 (Remote)<br>2 (Remote)<br>3 (Remote)<br>4 (Remote) | (NONE)、One-Shot AF <sup>*</sup> 、Push Auto Iris <sup>*</sup> 、 <b>ABB</b> (3)、AE Shift +、AE Shift -、 <b>Color Bars</b> (1)、Aspect Marker、 <b>Set WB</b> (2)、Tele-converter、 <b>Monochrome</b> (4)、External Rec、Custom Picture、Camera Mode<br>( )内の数字はアサインボタン。 <sup>*</sup> ML-105 EF のみ<br>RC-V100 のアサイン 1 ~ 4 ボタンに機能を割り当てる ( 15 )。 |
| Power LED          |  | <b>On</b> 、Off<br>電源ランプの点灯、消灯を設定する。   |
| Frame Rate         |  | システム周波数が [59.94Hz] のとき: 59.94P、59.94i <sup>*</sup> 、29.97P、23.98P<br>システム周波数が [50.00Hz] のとき: 50.00P、50.00i <sup>*</sup> 、25.00P、25.00PsF <sup>*</sup><br>フレームレートを設定する ( 21 )。システム周波数や解像度によって、選べる設定値が変わる。3G-SDI で接続するときは、[59.94P] または [50.00P] を選択する。<br><sup>*</sup> 解像度が 1920×1080 のときのみ。  |
| Resolution         |  | <b>1920x1080</b> 、1280x720<br>解像度を設定する ( 21 )。  |
| Genlock Adjustment |  | -1023 ~ 1023 ( <b>000</b> )<br>同期信号の H 位相を調整する ( 15 )。  |
| Scan Reverse       |  | Both、Vertical、Horizontal、 <b>Off</b><br>映像を垂直(上下)、水平(左右)、両方(上下左右)のいずれかに反転させる。   |
| Aspect Marker      | Activate   | <b>On</b> 、 <b>Off</b><br>アスペクトマーカの表示・非表示を設定する。   |
|                    | Color  | Black、 <b>Gray</b> 、White<br>アスペクトマーカの色を選ぶ。   |
|                    | Ratio  | 4:3、4:3 S35mm、1.66:1、1.85:1、 <b>2.39:1</b><br>アスペクトマーカのアスペクト比を選ぶ。   |
| Custom Display     | Camera Name  | <b>On</b> 、Off<br>撮影画面に任意のカメラ名を表示する。  |
|                    | White Balance  | <b>On</b> 、Off<br>撮影画面にホワイトバランスを表示する。   |
|                    | Camera Mode  | <b>On</b> 、Off<br>撮影画面にカメラモードを表示する。   |
|                    | Iris   | <b>On</b> 、Off<br>撮影画面にアイリスを表示する。   |
|                    | Gain   | <b>On</b> 、Off<br>撮影画面にゲインを表示する。  |
|                    | Shutter Speed  | <b>On</b> 、Off<br>撮影画面にシャッタースピードを表示する。  |
|                    | Custom Picture                                       | <b>On</b> 、Off<br>撮影画面にカスタムピクチャーのファイル名やプリセット名を表示する。   |

|                              |  |
|------------------------------|--|
| Lens Error<br>(ML-105 EF のみ) | <b>On、Off</b><br>撮影画面にレンズエラーを表示する。   |
| Temperature<br>Warning       | <b>On、Off</b><br>撮影画面に温度警告を表示する。   |
| Camera Name                  | 任意のカメラ名を入力する(最大 16 文字)。<br>入力可能な英数字記号: A~Z、a~z、0~9、!、#、\$、%、&、(、)、+、-、..、=、@、[、]、^、_、`、{、}、~、(スペース)<br>RC-V100 の上/下ボタンを押して文字を選び、左/右ボタンまたは SET ボタンを押すとカーソルが移動する。MENU ボタンでカーソル部分の文字を削除できる。 |
| Firmware                     | 本機のファームウェアのバージョンを確認する。   |

## 6 主な仕様

| システム                 |  |
|----------------------|--|
| 撮像素子                 | 35mm フルサイズ相当 CMOS センサー<br>有効画素数: 約 207 万画素 (1920 x 1080)<br>画素サイズ: 19×19 μm<br>有効画面領域: 約 36.5×20.5 mm (対角 41.9 mm)   |
| 最低被写体照度              | 0.0005 lx 以下※(ISO 感度換算:400 万相当)<br>※カラー、蓄積なし、F1.2、シャッタースピード 1/30 秒時、50IRE、最大ゲイン 75 dB 時                              |
| レンズマウント              | ML-105 EF: キヤノン EF マウント(シネマロックタイプ)<br>ML-105 M58: M58 マウント (フランジバック: 15 mm)  |
| システム周波数              | 59.94 Hz、50.00 Hz  |
| フレームレート              | 1920×1080: 59.94P、59.94i、50.00P、50.00i、29.97P、25.00P、25.00PsF、23.98P<br>1280×720: 59.94P、50.00P、29.97P、25.00P、23.98P |
| 露出                   | AE シフト、測光方式(スタンダード、スポットライト、バックライト)   |
| ホワイトバランス             | オート、セット A(WB-A)、セット B(WB-B)、プリセット設定(太陽光、電球)  |
| アイリス※ <sup>1</sup>   | マニュアル(1/2 stop、1/3 stop、Fine)、プッシュオートアイリス、オート(ゲイン、シャッターと連動)  |
| ゲイン                  | 0 ~ 75 dB (3 dB 刻み)  |
| シャッタースピード            | 9.51 ~ 1/24000 秒   |
| 光学フィルター              | ローパスフィルター(ND フィルター、UV-IR カットフィルターなし)   |
| フォーカス                | マニュアル、ワンショット AF※ <sup>1</sup>  |
| 周辺光量補正※ <sup>1</sup> | キヤノン EF レンズ群で可能(一部の EF レンズを除く)   |
| ガンマ                  | Normal 4 種類、Wide DR、Canon Log、Linear   |
| 入・出力端子               |  |
| 3G/HD-SDI 端子         | BNC コネクター(出力のみ)、0.8 Vp-p / 75 Ω、不平衡、画面表示対応<br>3G-SDI (SMPTE 424、425、ST 299-2 準拠)<br>HD-SDI (SMPTE 292、ST 299-1 準拠)   |
| GENLOCK 端子           | BNC コネクター(入力のみ)、1.0 Vp-p / 75 Ω  |
| REMOTE 端子            | 8 ピンコネクター(RS-422/485/232 用)  |
| DC IN 端子             | 8 ピンコネクター  |
| 電源その他                |  |
| 電源電圧                 | 入力範囲 DC 10 V ~ 29 V  |
| 消費電力                 | 約 10.5 W (1920×1080、59.94P 時)、約 10.2 W (1920×1080、50.00P 時)(本体のみ)  |
| 動作環境                 | 温度: -20 °C ~ +50 °C<br>湿度: 5 % ~ 85 %RH (結露がないこと)  |
| 外形寸法(幅×高さ×奥行き)       | ML-105 EF: 約 76×76×112 mm (突起部を含まず)<br>ML-105 M58: 約 76×76×83 mm (突起部を含まず)   |
| 質量                   | ML-105 EF: 約 775 g (本体のみ)<br>ML-105 M58: 約 555 g (本体のみ)  |

※<sup>1</sup> ML-105 EF のみ

## 対応レンズと機能

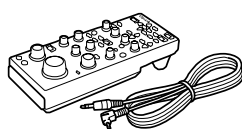
ご購入いただいた時期によっては、レンズのファームウェアのアップデートが必要になることがあります。詳細については、お問い合わせ窓口にお問い合わせください。

動作確認済みのレンズについては、キヤノンのホームページをご覧ください。

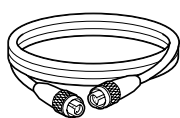
| レンズ           |                              | カメラから調整できる機能 |       |     |
|---------------|------------------------------|--------------|-------|-----|
|               |                              | アイリス         | フォーカス | ズーム |
| EF レンズ        |                              | ●            | ●     | —   |
| EF シネマ<br>レンズ | CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S | ●            | ●     | ●   |

## アクセサリ紹介

本機は、キヤノン純正の専用アクセサリと組み合わせて使用したときに最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。



リモートコントローラー  
RC-V100




8ピン リモートケーブル  
RR-10、RR-100



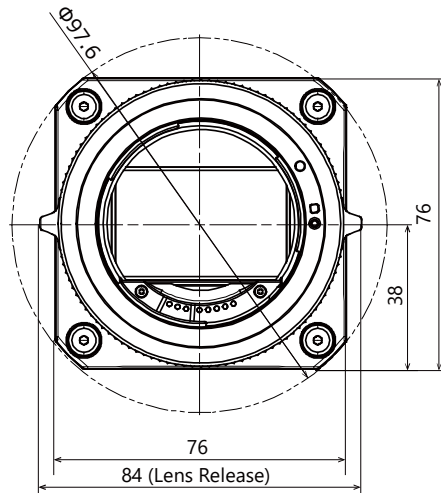
このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。

### ご注意

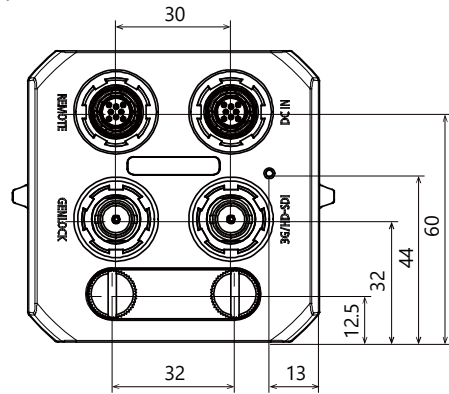
- 本機では、RC-V100 に付属のリモートケーブルは使用できません。
- 8ピン リモートケーブル RR-10 / RR-100 をカメラに接続するときは、カメラ側のコネクタを  8 に記載された適合プラグに変更する必要があります。

寸法図(ML-105 EF)

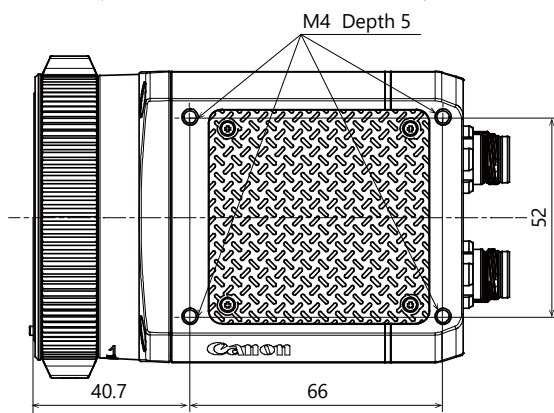
正面



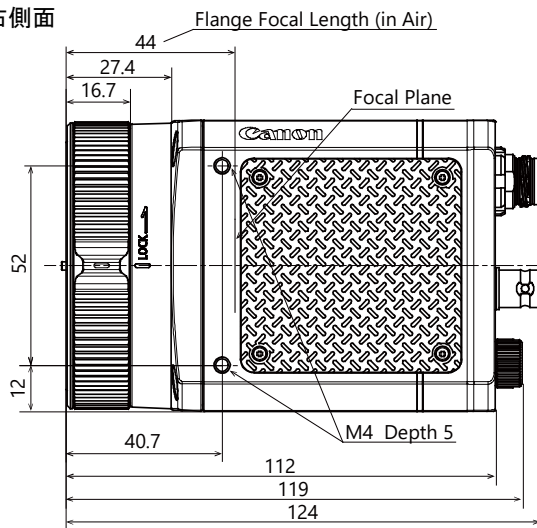
背面



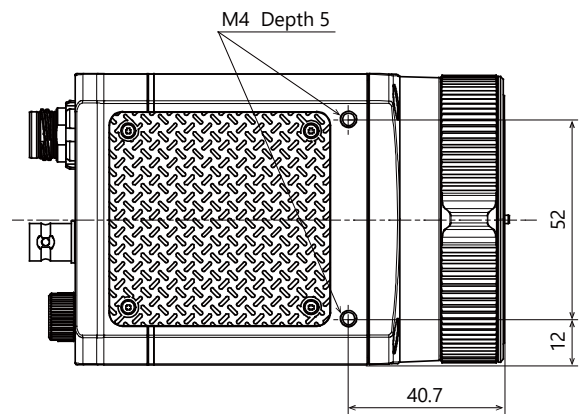
上面



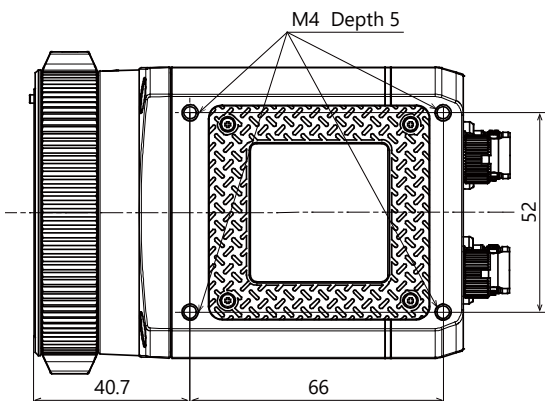
右側面



左側面



底面

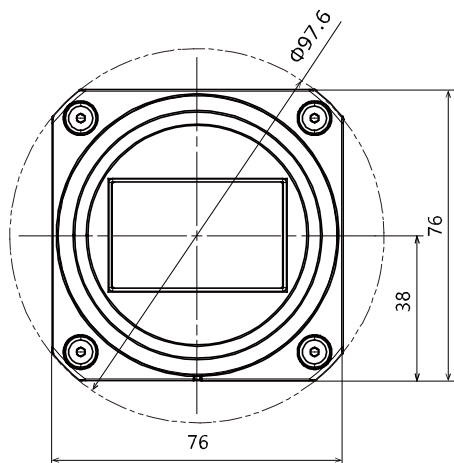


単位: mm

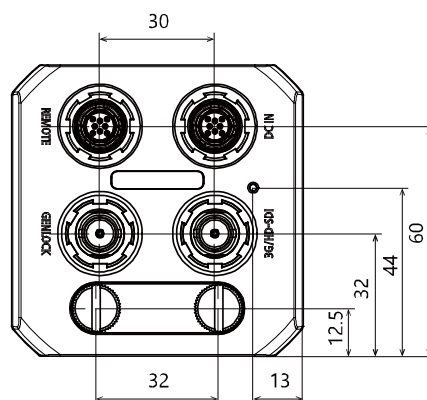


寸法図(ML-105 M58)

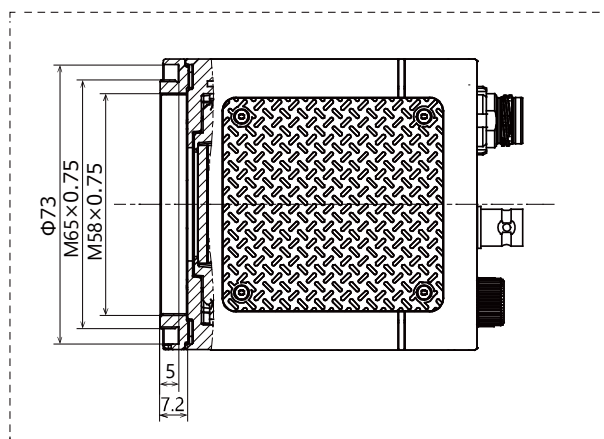
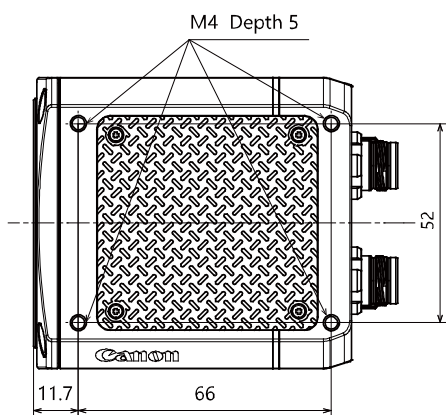
正面



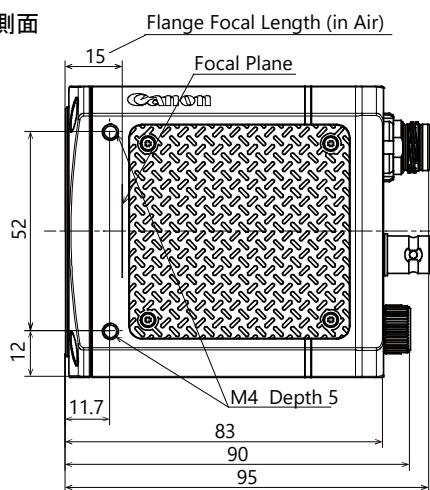
背面



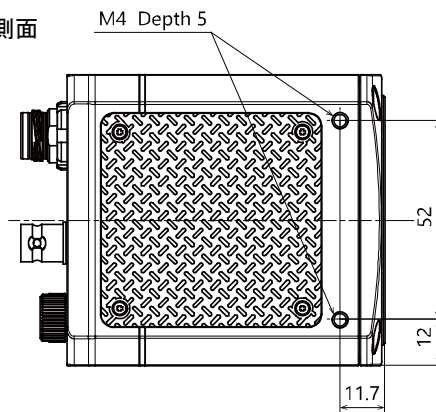
上面



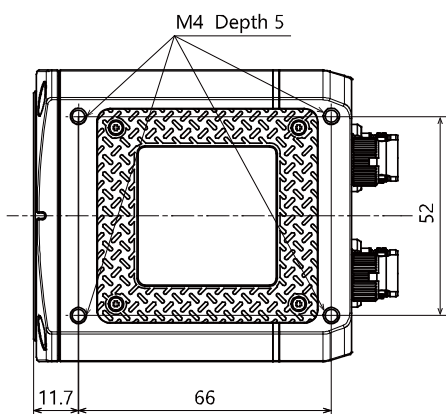
右側面



左側面



底面



単位:mm

## 7 その他

### エラーメッセージ

外部モニターの画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。

#### Temp.

本機内部の温度が高くなっている。しばらく経っても温度警告表示が消えないときは、本機の電源を切り、温度が低くなるまで使用を中止する。それでも解決しないときは、お問い合わせ窓口にご相談ください。

#### Lens

レンズと正常に通信ができない。本機を再起動する、またはレンズの接点を清掃する(レンズの接点の清掃は、本機の電源を切り、レンズを取り外してから行う)。それでも解決しないときは、お問い合わせ窓口にご相談ください。

#### ABB error

ABB(オートブラックバランス)が正しく動作しなかった。ボディキャップ、または EF シネマレンズをしっかりと取り付けて、光を遮断してから、もう一度 ABB を実行する。それでも解決しないときは、お問い合わせ窓口にご相談ください。

#### Firmware update error. Please do it again.

本機のファームウェアの更新が正常に終了しなかった。再度、アップデートを行う。

### トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、お問い合わせ窓口にご相談ください。

#### システム周波数またはフレームレートを設定したときに、外部モニターに何も表示されない。

システム周波数またはフレームレートが正しく設定されていません。フレームレートとシステム周波数の変更のしかたは、次のとおりです。

「59.94i」または「50.00i」以外のフレームレートを設定して、画面が映らなくなった場合：

- 本体背面の DIP スイッチ保護カバーをはずし、DIP スイッチの 1 番が OFF のときは、ON にしてから、再度 OFF にする。DIP スイッチ 1 番が ON のときは、OFF にしてから、再度 ON にする。本機が再起動し、現在設定されているシステム周波数のフレームレートの初期設定(「59.94i」または「50.00i」)に戻る。
- RC-V100 接続時は、アサイン 1 ボタンと 3 ボタンを同時に長押しして、電源ランプが消灯したら※、ボタンを離す。本機が再起動し、現在設定されているシステム周波数のフレームレートの初期設定(「59.94i」または「50.00i」)に戻る。

※ MENU > [Other Functions] > [Power LED] の設定が [Off] のときは、アサイン 1 ボタンと 3 ボタンを同時に長押しすると、電源ランプが点灯する。電源ランプが消灯したら、ボタンを離す。

システム周波数を変更して、画面が映らなくなった場合：

- 本体背面の DIP スイッチ保護カバーをはずし、DIP スイッチの 1 番を ON または OFF にする。本機が再起動し、システム周波数の設定が切り替わる(「59.94i」または「50.00i」で出力する)。

#### リモートコントローラーRC-V100が動作しない。

本体背面のDIPスイッチ保護カバーをはずし、DIPスイッチの2～5番をOFFにします。

## 索引

## 数字

|                      |    |
|----------------------|----|
| 3G/HD-SDI 端子 .....   | 9  |
| 3G-SDI Mapping ..... | 43 |

## 英字

|                                    |       |
|------------------------------------|-------|
| ABB.....                           | 17    |
| AE Response.....                   | 41    |
| AE Shift.....                      | 26    |
| AGC Limit.....                     | 27    |
| Aspect Marker .....                | 34    |
| Assignable Buttons.....            | 35    |
| Auto Slow Shutter.....             | 41    |
| AWB .....                          | 29    |
| Black .....                        | 38    |
| Black Gamma.....                   | 38    |
| Camera Name.....                   | 45    |
| Color Bars.....                    | 42    |
| Color Correction .....             | 39    |
| Color Matrix .....                 | 39    |
| Custom Display.....                | 40、44 |
| DC IN 端子 .....                     | 9     |
| Device Number.....                 | 44    |
| DIP スイッチ .....                     | 9     |
| EF-S Lens .....                    | 42    |
| Fine Tuning.....                   | 43    |
| Firmware.....                      | 45    |
| Flicker Reduction.....             | 41    |
| Focus Limit.....                   | 32    |
| Frame Rate.....                    | 44    |
| Gamma.....                         | 37    |
| Genlock Adjustment .....           | 44    |
| GENLOCK 端子 .....                   | 9     |
| Iris Increment.....                | 42    |
| Knee.....                          | 38    |
| Light Metering.....                | 41    |
| Monochrome.....                    | 43    |
| Noise Reduction.....               | 38    |
| One-Shot AF .....                  | 31    |
| Periph. Illum. Corr. ....          | 43    |
| Power LED.....                     | 44    |
| Push Auto Iris.....                | 25    |
| Rec Command.....                   | 43    |
| REMOTE 端子 .....                    | 8     |
| Reset.....                         | 43    |
| Resolution.....                    | 44    |
| Scan Reverse .....                 | 44    |
| Select File (Custom Picture) ..... | 36    |

|                        |    |
|------------------------|----|
| Sharpness.....         | 38 |
| Shockless WB.....      | 41 |
| Tele-converter .....   | 42 |
| WB Limit.....          | 41 |
| White Balance.....     | 29 |
| Zoom-Iris Correct..... | 42 |

## あ

|                 |    |
|-----------------|----|
| アイリス .....      | 24 |
| アサインボタン .....   | 35 |
| アスペクトマーカー ..... | 34 |
| エラーメッセージ.....   | 50 |

## か

|                    |    |
|--------------------|----|
| 外部モニター/レコーダー ..... | 13 |
| カスタムピクチャー.....     | 36 |
| カメラダイレクト設定.....    | 23 |
| カメラモード.....        | 22 |
| ゲイン.....           | 27 |

## さ

|                |    |
|----------------|----|
| 撮影.....        | 19 |
| 撮影画面 .....     | 20 |
| シャッタースピード..... | 28 |
| 測光方式 .....     | 26 |

## た

|                   |    |
|-------------------|----|
| 電源.....           | 11 |
| 電源ランプ.....        | 9  |
| トラブルシューティング ..... | 50 |

## は

|                  |    |
|------------------|----|
| フォーカス.....       | 31 |
| フォーカスリミット.....   | 32 |
| ブラックバランス .....   | 17 |
| ホワイトバランス.....    | 29 |
| ホワイトバランスセット..... | 29 |

## ま

|            |        |
|------------|--------|
| メニュー ..... | 16, 41 |
|------------|--------|

## ら

|                         |    |
|-------------------------|----|
| リモートコントローラーRC-V100..... | 12 |
|-------------------------|----|

■ 本書の記載内容は2021年4月現在のものです

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。最新の使用説明書については、キヤノンのホームページをご確認ください。

**Canon**

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6